

高文連

第15号

山口県高等学校文化連盟

島文連

第 15 号

も く じ

あいさつ	1
山口県高等学校文化連盟各部門の報告	2
第25回山口県高等学校総合文化祭の記録	
総合開会式	15
(音楽関係4部門)	
器楽・管弦楽部門	19
合唱部門	20
吹奏楽部門	21
マーチングバンド・バトントワリング部門	22
日本音楽・吟詠剣詩舞部門	23
展示3部門(美術・工芸、書道、写真)	24
囲碁部門	28
演劇部門	29
放送部門	30
将棋部門	31
第27回全国高等学校総合文化祭の記録	32
器楽・管弦楽部門	34
合唱部門	35
吹奏楽部門	36
マーチングバンド・バトントワリング部門	37
日本音楽部門	38
美術・工芸部門	39
書道部門	40
写真部門	41
囲碁部門	42
放送部門	43
将棋部門	44
文芸部門	45
自主事業	46

参考資料

平成15年度山口県高等学校文化連盟＜事業報告・会計決算書＞	52
平成16年度山口県高等学校文化連盟＜事業計画・会計予算書＞	54
山口県高等学校文化連盟規約・諸規定(会計、事務局、表彰、旅費支給基準)	56
平成15・16年度山口県高等学校文化連役員一覧	61
全国高文連の歌	63



ごあいさつ

山口県高等学校文化連盟

会 長 山 賀 正 彦

高校生の文化・芸術の祭典である第25回山口県高等学校総合文化祭は、「鳴り響く鼓動 輝く夢 今、未来へ」をテーマに掲げ、平成15年6月12日、岩国市で行われた総合開会式を皮切りに、県内各地で各部門の発表会等が、沢山の高校生や地域の方々の参加を得て盛大に開催され、多くの成果をあげることができました。

また、福井県で開催された第27回全国高等学校総合文化祭には、各部門から延べ35校304名が参加しました。福井県の高校生の温かい歓迎と高校生主体の運営が行われる中、参加者は平素の精進によって培われた力を遺憾なく発揮し、各部門で活躍しました。

これらの県内外で繰り広げられた大会等に参加した感性豊かな高校生にとって、創造・感動・喜びそして交流の輪の広がりなど、青春時代のかけがえのない財産が得られたものと思います。

今年、本県高文連の特筆すべきこととして、昨年度山口で開催した第4回高校生文芸道場中国大会の成功をバネに、新しく14番目の専門部『文芸専門部』が誕生したことです。部門が増え、高文連の一層の充実が図られたことに、大変喜んでいきます。文芸専門部の今後の充実・発展を期待しています。

一方、県高文連では高校生に本物の文化・芸術を鑑賞する機会を作り、文化・芸術に対する興味や関心を高めることを目的に自主事業を企画しておりますが、今年度は11公演を県内各校で開催し、好評のうちに終えることができました。

国では「文化芸術振興基本法」が制定され、「文化芸術の振興に関する基本的な方針」を閣議決定し、文化芸術に関する国の施策の方向が示されました。平成18年には本県において「第21回国民文化祭」が開催されることになっており、各イベントの開催地も決定し、急ピッチで準備が進められております。このような中で、将来の文化・芸術の担い手である高校生を擁する県高文連の果たす役割も大きいものがあると思います。県高文連への一層の御支援・御協力をお願いいたします。

終わりに、この1年間終始温かい御指導を賜りました県教育委員会に、深甚なる謝意を表しますとともに、県高文連の諸活動に御支援・御協力をいただきました各位に、心からお礼申し上げ、発刊の御挨拶といたします。

山口県高等学校文化連盟＜各部門の報告＞

器楽・管弦楽部門

理事長 飯田 幸生
(下関南高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟では今年度、次のような事業を行いました。

1. 平成15年度第25回山口県高等学校総合文化祭総合開会式において慶祝演奏として合唱部門との合同演奏

・ 6月12日 (木)

・ 曲目「大地讃頌」

「ハレルヤ・コーラス」

「翼をください」

*指揮／上田 綾子

*参加出演／器楽・管弦楽部門 105名

2. 平成15年度第25回山口県高等学校総合文化祭 音楽4部門発表会

* 6月13日 (金)、14日 (土)

*参加各校による弦楽・ギター・マンドリン・管弦楽の演奏

*参加出演／7校 290名

3. 第27回全国高等学校総合文化祭 福井大会

*8月9日 (土)

福井県立音楽堂 (ハーモニーホールふくい)

*山口県代表／

防府高等学校

*曲目／行進曲「威風堂々」第1番、スターウォーズ「帝国の逆襲」

第25回山口県高等学校総合文化祭総合開会式▶
(シンフォニア岩国)

4. 平成15年度山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部会

*12月8日 (月)

下関南高等学校会議室

部会長以下出席者8名

*第23回器楽・管弦楽スプリングコンサート (防府大会)、県総文、全総文、高文連表彰、役員改選など協議

5. 第23回器楽・管弦楽スプリングコンサート

*平成16年3月23日 (火)

防府市公会堂

*参加7校によるギター・マンドリン、管弦楽などの演奏



合唱部門

理事長 有 富 美 子

(萩高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟、合唱部門に関して行われた今年度の行事を報告いたします。

1. 山口県高等学校合唱講習会

(開幕式典に備えての講習会)

- ・平成15年5月25日(日)
- ・講師／山崎 勝(島根県立浜田高等学校教諭・島根県合唱連盟副理事長)
- ・内容／発声と曲作り
- ・曲目／“オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」”
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”
- ・場所／山口県教育会館大ホール
- ・参加者／12校 176名

発声を中心とした、ユーモアに富んだ楽しく分かりやすいご指導をいただき、日々の練習に早速活用している学校も多いことと思います。今回得たものを基に、平素の活動がより楽しく

充実したものになるよう工夫したいものです。

2. 平成15年度第25回山口県高等学校

総合文化祭 開幕式典において慶祝演奏

- ・6月12日(木)
- ・山口県高等学校管弦楽団との合同演奏
- ・曲目／“オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」”
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”
- ・山口県高等学校合唱団／12校 193名
今年は昨年と同様、オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」、カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」としました。日ごろ小人数で活動している生徒達にとって、この大合唱は貴重な経験となりました。音響の良いホールにも助けられ、若者の歌声が響き渡りました。

3. 平成15年度第25回山口県高等学校

総合文化祭 音楽4部門発表会

- ・6月13日(金)、14日(土)
- ・シンフォニア岩国
- ・合唱部門出演者／11校 185名

4. 第27回全国高等学校総合文化祭

- ・8月10日(日)
- ・敦賀市民文化ホール
- ・山口県代表／岩国高等学校合唱部
- ・曲目／

Alma Redemptoris Mater 作曲 Javier Busto
ほたるこい 秋田地方わらべうた
編曲 小倉 朗
烏かねもん勘三郎 広島地方わらべうた
編曲 間宮 芳生

5. 平成15年度山口県高等学校文化連盟

合唱部会及び研修会

- ・12月5日(金) 萩高等学校会議室
- ・出席者／部会長以下10名
- ・議題／県総文、全総文、高文連表彰等について



吹奏楽部門

理事長 藤本 博 途
(岩国商業高等学校教諭)



平成15年度山口県高等学校文化連盟吹奏楽部門の活動状況を報告いたします。

1. 県総文総合開会式

総合開会式は、『鳴り響く鼓動 輝く夢 今、未来へ』というテーマのもと、岩国総合高等学校主管で平成15年6月12日（木）シンフォニア岩国で盛大に開催されました。吹奏楽部門は岩国地区高校合同吹奏楽団を編成し、岩国高校の上田憲明先生、広瀬高校の小松秀之先生の指揮のもとで、式典並びに慶祝演奏に参加しました。

2. 県総文音楽4部門発表会・連合音楽会

総合開会式の翌日13日（金）、14日（土）の2日間、音楽4部門発表会・連合音楽会が同じくシンフォニア岩国で開催されました。吹奏楽部門には54校1,844名の生徒が参加し、すばらしい演奏を披露してくれました。

3. 全総文福井大会

全総文福井大会は8月11日（月）福井市ハーモニーホールで開催され、山口県代表として防府西高等学校吹奏楽部（中川聡先生、藤元徹先生指揮）が出場されました。防府西高校のマーチ、

ディズニーファンティリュージョンの2曲を披露されました。演奏はもちろん、演出面でも大変工夫がなされており、聴衆は万雷の拍手で応えていました。

4. 高文連吹奏楽部会総会

本年度吹奏楽部会総会を1月23日（金）秋吉台国際芸術村で開催いたしました。県下30名の吹奏楽指導担当者が出席し、本年度事業報告や来年度事業計画、県総文の開催日程、全総文徳島大会への参加推薦等の多くの協議事項に対して活発な意見交換がなされました。

5. 高文連吹奏楽部会研修会

総会終了後、部会研修会を開催いたしました。新国立劇場の指揮者である矢澤定明氏を講師にお迎えし、ピアノや吹奏楽モデルバンドを使っ
ての指揮の基礎と実践講習を行いました。あいにくの大雪の中でしたが、県内各地からのべ80名の先生方が集まり、指揮棒を片手に一生懸命受講しました。指揮法を学ぶのは初めてという先生方も多く、非常に有意義な講習となりました。

マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 熊野文政
(佐波高等学校教諭)

平成15年度山口県高等学校文化連盟マーチングバンド・バトントワリング部門の活動について報告いたします。

1. 第25回山口県高等学校総合文化祭

総合開会式における慶祝演奏

平成15年6月12日(木)にシンフォニア岩国において行われた総合開会式では、岩国商業高等学校吹奏楽部と、誠英・慶進高等学校各バトントワリング部との合同演奏・演技が披露されました。

・曲目「バック・トゥー・ザ・フューチャー」
「カウボーイ」

2. 第25回山口県高等学校総合文化祭

音楽4部門発表会

本部門の発表は、平成15年6月13日(金)にシンフォニア岩国において行われました。マーチングバンドとして、山口県鴻城高等学校吹奏楽部と佐波高等学校吹奏楽部が、バトントワリングでは誠英高等学校と慶進高等学校の両バトントワリング部が出演しました。

以上4校の生徒総計111名がすばらしい演奏・演技で観客の心を引きつけていました。

3. 第27回全国高等学校総合文化祭

今年度の福井大会では、誠英・慶進高等学校

バトントワリング部が、山口県合同チームとして参加しました。平成15年8月8日(金)に福井市街地で行われたパレード部門に出場し、大会のオープニングに華をそえました。

8月10日(日)には福井県営体育館で行われたマーチングバンド・バトントワリング部門に出場しました。「FLYING UP!!」という題名で32名の生徒が演技を披露しました。鮮やかな山口県カラー(オレンジ)の衣装に身を包み、広い会場にも大きく華やかな演技に、会場からは大きな拍手が送られていました。

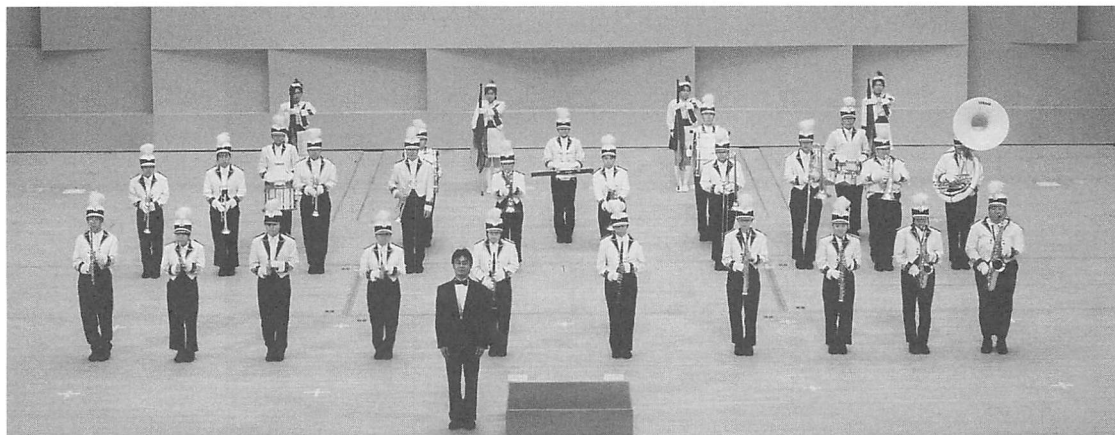
4. 平成15年度山口県高等学校文化連盟

マーチングバンド・バトントワリング部会

平成15年12月11日(木)に佐波高等学校で開催しました。部会長以下8名が出席し、県総文、全総文、高文連表彰、部門研修等について話し合いました。

5. 部門研修

バトントワリングでは、横山久美子先生を講師とした講習会を、6～7月に計3回実施しました。マーチングバンドでは、12月13日(土)・14日(日)に、山口県吹奏楽連盟と合同開催の講習会を、山口県鴻城高等学校を会場として実施しました。



日本音楽部門

理事長 宮本 睦美

(田布施農業高等学校教諭)

平成15年度山口県高文連日本音楽部門の活動状況を報告いたします。

1. 第25回山口県高等学校総合文化祭

総合開会式 慶祝演奏

6月12日(木)シンフォニア岩国において、岩国総合高等学校の主管で盛大に総合開会式が行われました。各専門部紹介後の慶祝演奏では、岩国商業高等学校邦楽部が「春を呼ぶ二つのソネット」を演奏しました。雪解け水が冬の終わりを告げ、すべてのものが冬の眠りから覚めて新しい生命の息吹に満ち溢れる春の情景を彷彿とさせる澄み切った琴の音がコンサートホールをつつみました。

2. 第25回山口県高等学校総合文化祭

日本音楽・吟詠部門発表会

今年度の発表会は6月14日(土)聖光高等学校主管で光市民ホール(大ホール)にて開催されました。日本音楽部門に15校、吟詠剣仕舞部門に2校、郷土芸能部門に1校が参加し、122名の生徒達がステージ上で日頃の活動の成果を披露しました。吟詠剣仕舞部門は部門としては休部中ですが、例年この大会に共に参加してい

ます。

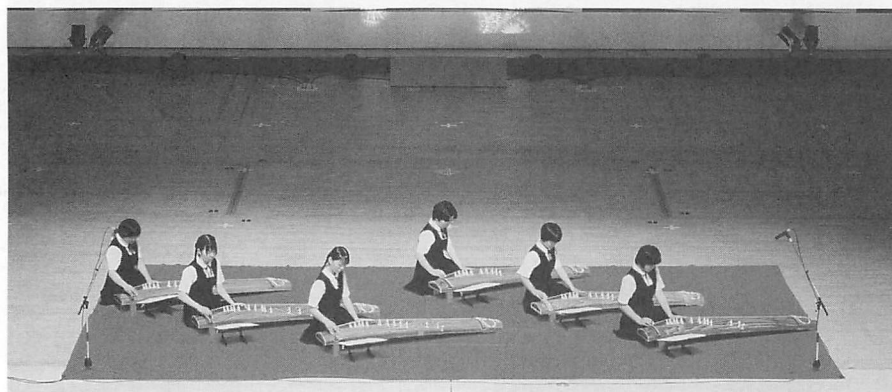
各校の演奏も回を重ねるごとにより充実したものになってきています。曲の内容も、古典あり、モーツァルトあり、また打楽器を交えた合奏ありという様に、日本音楽の新たな可能性を感じさせるものでした。今回2回目となる合同演奏も、リハーサルなしのぶっつけ本番という演奏にもかかわらず、出演生徒たちが心一つにして演奏し、昔懐かしい童謡の世界がステージいっぱいに広がりました。

また、今回は聖光高等学校の生徒達全員が観客席で演奏を鑑賞してくれて大会を大いに盛り上げてくれました。日頃あまりなじみのない日本音楽の演奏や、仕舞、吟詠の発表に対して、熱心に見入り、耳を傾けてくれる生徒達の熱意が舞台上の演奏を後押ししてくれていたかのように感じられました。

3. 第27回全国高等学校総合文化祭福井大会

8月9日(土)10日(日)、武生市文化センターで開催された大会には聖光高等学校が県代表として参加し、「祭太鼓」を演奏しました。全国大会ならではのレベルの高い演奏に触れる

ことは、大変貴重な経験であり、今後の活動に対する大きな励みになったのではないかと思います。



美術・工芸部門

理事長 古賀隆光

(宇部商業高等学校教諭)

平成15年度美術・工芸部門の主な活動について報告いたします。

1. 県高等学校総合文化祭総合開会式慶祝展示

シンフォニア岩国の企画展示ホールにおいて岩国地区5校から22点の作品が出品され、総合開会式に華をそえてくれました。各学校が部活動に励んでいる姿が感じられる良い展示でした。

2. 全国高等学校総合文化祭く福井大会>

作品展示は福井県立美術館で行われました。全国から442点の出品があり、いずれもレベルの高い作品ばかりで見応えのあるものでした。その中であって、本県から出品された絵画3点、デザイン1点、彫刻1点は、全国の中でもしっかりと個性を醸し出していたように思います。生徒交流会では、それぞれの地方から持ち寄った独特な紙や広告などをグループに分かれて交換し、それを材料に葉書にコラージュ作品を作るといったことが行われました。短い時間ではありますが、それぞれがユニークな作品を作っており、参加した生徒には良い経験になったのではないかと思います。また、講演会では、画家の宇佐美圭司先生を招いて、自己の体験をまじえた講演があり、これもまた生徒にとって良い経験になったと思われます。別項の全国総文祭の記録に、出品者の声が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

また、全国的美術・工芸部は、平成18年より「絵画」「デザイン・彫刻」「工芸」という作品区分から「平面」「立体」という区分に変わります。一般的美術・工芸の流れからいっても、こういった区分になってくるのは、自然なことかと思われます。高校生の作品にも、絵画なのかデザインなのか、彫刻なのか工芸なのか

と考えるてはならない作品が多く出てきています。ですから、そういったジャンルにこだわる必要のない自由な表現といった見地からも、この立体と平面という区分は正しいのかもしれませんが、こういった流れの中で本県的美術・工芸を見る時、平面はかなり充実しているように思いますが、立体がやや弱いと言わざるをえません。唯ここ数年立体に対する意識も少しずつ変わり、全国大会に出品する立体作品のレベルも高くなってきています。全国総文祭の区分変更が、山口県的美術・工芸に良い刺激を与えるものであってほしいと思います。

3. 県総合文化祭展示部門

『第25回山口県高総文祭の記録』に掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

4. 美術・工芸部連絡協議会

今年の連絡協議会は、9月26日(金)に宇部商業高等学校で行いました。22名の参加ということで、いつもの顔ぶれといった感じがあるのですが、出張で出る事の難しさを考えるといたしかたのないのかという気もします。年に一度美術・工芸部顧問が、部活動の問題点を持ち寄り、意見交換をする場です。もっと多くの顧問が参加できるよう整備が必要だと思っています。



書道部門

理事長 有 富 由 美
(防府高等学校教諭)

平成15年度山口県高文連書道部門の主な活動について報告いたします。

1. 山口県高校総合文化祭総合開会式慶祝展示

シンフォニア岩国の展示ホールに、岩国地区4校からの作品を展示しました。主管の岩国総合高校を始めとして岩国地区の先生方、生徒の皆さんのお陰で、郷土色豊かなバラエティに富んだ展示になりました。

2. 第5回高文連書道部生徒研修会 7/27(日)

夏休みの暑い1日、今年も防府高校を会場に生徒研修会を行いました。内容は、午前中は、特大筆を使っての一字創作、午後からは「蘭亭序」の臨書に取り組みました。参加者は、県内7校より24名と、昨年より2名減少したものの例年通り賑やかに行われました。研修会恒例となりつつある午前の一字創作では学校枠を超えたグループでの共同作業により交流を深めることができました。午後からは、半切を縦に細長く切った画仙紙に「蘭亭序」を一行ずつ臨書しました。これは四曲屏風に表装し11月の県総文に共同制作として出品し、好評を得ました。

県内書道部員が、個々の学校では体験できな

い時間を共有することの意義を深く感じ、今後ともこの研修会がさらに発展していくことを期待してやみません。

3. 全国高等学校総合文化祭<福井大会>

8/8(金)～8/11(月)

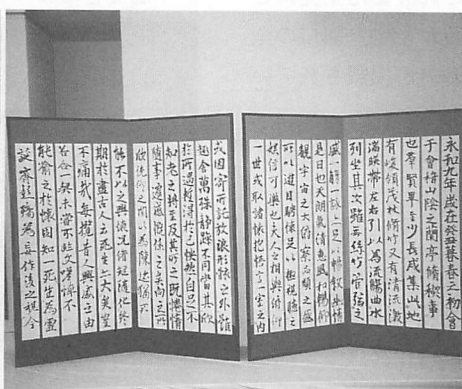
本年度の全総文祭は、福井県福井市で開催されました。作品展会場である福井県産業会館には北海道から沖縄まで各県代表作が展示され、高校生のみならずエネルギーにただ圧倒されるばかりでした。山口県からは宇部西、下関西、厚狭、萩光塩の4校が代表として出品しましたが、どれも古典に忠実に挑んだ、素直で好感のもてる作品であったと思います。交流会では、自分の作品を色紙に漉き込む紙漉体験をメインに、今立和紙の里会館で、さまざまな交流が行われました。かけがえのない作品と共に、意義深く、すばらしい思い出をおみやげにすることができたと思います。

4. 山口県教員書作展 8/15(金)～17(日)

本年度は、下関西高校の河合先生の担当で、下関市民会館を会場に開催されました。落ち着いた展示会場には、県内28名の先生方の力作が

所狭しと展示され、見ごたえのある書作展となりました。今後とも、我々の貴重な研鑽の場として、この書作展が益々発展していくことを祈ります。

5. 山口県高等学校総合文化祭<書道部門>
第25回県総文祭の記録に掲載しています。



写真部門

理事長 佃 幸憲
(光高等学校教諭)

平成15年度の山口県高文連写真部門の活動状況についてご報告致します。

1. 平成15年度 第25回山口県高等学校

総合文化祭 総合開会式

(シンフォニア岩国にて)での慶祝展示
今年度は、6月12日(木)から14日(土)まで、音楽4部門を中心に岩国市のシンフォニア岩国にて総合開会式および発表会が開催されました。

写真部門では例年、前年度の県総文展示部門の選考にて優秀作品に選ばれたものを、期間中に慶祝展示しています。今年度は以下の6点の展示となりました。

徳山高校	西嶋 基 作
	「野球部の小さなお母さん」
美祢工業高校	村岡 広基 作
	「田んぼの半年」
	「シャボン玉BOY」
宇部工業高校	山村 悠介 作
	「瞳(ひとみ)」
同上	若松 誠 作
	「HUG～抱きしめる～」
宇部西高校	大和 奈美 作
	「猫眼(ねこまなこ)」

出展にご協力頂いた顧問ならびに生徒の皆さんに感謝致します。

2. 平成15年度 全国高等学校総合文化祭 (福井大会)

8月8日(金)から12日(火)までの5日間、福井県福井市にあります福井市美術館(アートラボふくい)にて第27回大会が開催されました。最優秀賞には、宮城・長野・愛媛県の高校生の作品が選ばれました。

なお、今年度は全国奨励賞に、山口・宇部工

業高校の

山村悠介/作「たのんだぞ!! まかせとけ!!」

(カラー、単写真、全紙サイズ)

が入賞し、明るい話題となりました。また、撮影会コンテストにおいても、徳山高校の作品が上位入賞するなど、山口県のレベルの高さが実証されました。

全般的に今年度は、展示作品の最優秀(3)・優秀(7)・奨励(20)賞入賞作のうち、カラー作品の占める割合が増えました。その合計30点のうち15点がカラー作品で、モノクロ、カラーの割合が半々になったという印象でした。

また、デジタル作品の出展も多少ありましたが、作品数は5%程度にとどまりました。

台風の接近の中、参加された先生方・生徒の皆さん、お疲れ様でした。16年度は、徳島県での開催です。参加される先生方・生徒の皆さん、よろしくお願いします。

3. 平成15年度山口県高等学校総合文化祭 展示部門(周南大会)

11月7日(金)から9日(日)にかけて、周南市にあります周南市美術館にて開催されました。徳山高校が主管校(主担当は写真部会の藤川先生)で、無事終了しました。

運営役員ならびに周辺高校の補助員生徒の皆さん、いろいろお世話になりました。

詳細については、県総文の報告をご覧ください。



囲碁部門

理事長 守田 正志
(宇部高等学校教諭)

囲碁は、二人おれば、老若男女を問わず誰もが楽しめる手軽な競技です。と同時に、奥の深い、真理の探究にも似た極めて知的なゲームでもあります。

人生に大きな喜びや躓きがあるように、囲碁には思わぬ成功や失敗が伴います。暗中模索の果てに、活路が開けたときの気持ちは、形容しがたいものがあります。

さて、平成15年度の囲碁部門の主な活動は以下の通りです。

1. 第25回山口県高等学校総合文化祭

総合開会式慶祝展示

6月12日(木) シンフォニア岩国で開催された県総文祭に、囲碁部門は慶祝展示を行いました。昨年10月に萩高校で開催された第14回大会の対局風景の写真半切2枚を掲げ、囲碁部門の活動を紹介し、総合文化祭の開幕を喜び合いました。

2. 第25回山口県高等学校総合文化祭

囲碁部門第15回大会

10月26日(日) 宇部高校で開催された第15回大会には、13校から81名が参加しました。全国

大会の選抜と段級位認定を兼ねて、全員が4局の対局を行いました。

この日の戦績から、個人戦男女各1名、団体戦(男女混成)3名の計5名は、平成16年8月2日(月)～3日(火)に徳島県で開催される全国高校総文祭に県代表として出場します。

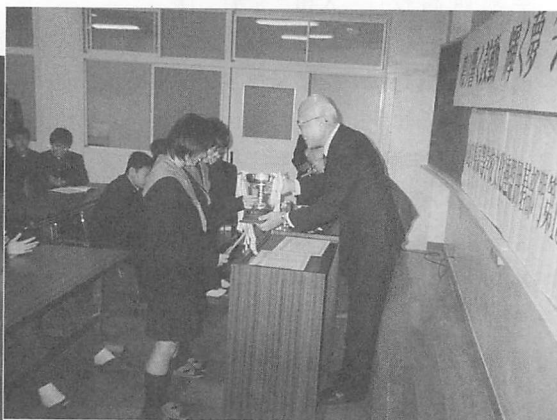
3. 山口県高等学校文化連盟囲碁部門研修大会

山口県の高校の囲碁文化の継承・発展には、指導者の不断の研修が欠かせません。全国に通用する選手の育成・強化を兼ねて、毎年研修会を行っています。

今年度は平成16年2月8日(日)山口市の「山口南総合センター」で開催しました。プロ棋士による全国大会出場者及び有段者クラスの者への指導対局も行いました。

4. 各種大会への参加

その他の大会に、全国高等学校囲碁選手権大会山口県予選及び中国高等学校囲碁選手権大会があります。これらの大会は、主催者名はこれまでの経緯から高等学校囲碁連盟ですが、高文連が主管等の形で運営を担ってきました。



演劇部門

理事長 村岡圭吾

(山口県鴻城高等学校教諭)

<感謝・感謝>

第40回中国地区高等学校演劇発表会

昨年は宇部の渡辺翁記念会館にて開催された中国大会でたいへんお世話になりました。会場の狭さ、交通の不便さにもかかわらず、多くの生徒や関係者がレベルの高い中国大会を生で見ることを体験し、感動も多かったようです。また40周年の記念大会ということで懐かしい顔ぶれが宇部に集結し、さながら同窓会のように多くの笑顔に出会えた気がします。この場を借りて、出場校、生徒スタッフ、宇部地区の先生方、各県の理事の先生方、ご尽力いただいたすべての方に感謝・感謝です。どうもありがとうございました。

<演劇部門近況>

現在演劇部門では20周年記念誌の発行の準備に追われています。(本来なら昨年完成の筈なのですが…)近年、山口県の高校演劇は全国でも高い評価を頂き県全体のレベルアップがなされてきているように思いますが、部活縮小・予算削減・生徒の減少という事情などから、各校の演劇部の活動があまり活発化されていません。長い伝統と歴史を断絶することなく、もっともっとみんなで山口県の高校演劇を盛り上げていかなければと決意して、頑張っています。

<平田オリザ先生来山！講習会・地区・県大会>

本年度の演劇講習会は6月14日(土)に菊川町ふれあい会館アブニールで行われました。

(田んぼの中に突如あらわれる使い勝手の良いきれいなホールでした。)今年は、なんと全国大会の審査員でもあり、桜美林大学助教授で劇作家の平田オリザ先生をお迎えし、盛大に開催されました。(事実参加生徒数の制限を設けるほど…担当の下関地区の先生方にはご苦労だったことだと拝察いたします。)県内の生徒・顧問が多数参加し、笑いあり、発見あり、感動ありのワークショップでした。予算等の関係から1日のみの開催でしたが、今度は宿泊つきで開

催しようと盛り上がり、次年度への提案も出しました。(お金は無いんですけど…)

地区大会は周防・山防・宇部・下関の4地区で行われました。各地区とも観客の動員が例年同様少なかったような気がします。生徒・先生方ともにお疲れさまでした。各地区それぞれに頑張っていました、会場費の高騰や地区間のレベルの差が懸念されるなど課題もあり、来年にむけて一層頑張っていかなければなりません。

(顧問の先生方もずいぶん様変わりしてきましたようです。)

県大会は10月25・26日に岩国市の山口県民文化ホール(シンフォニア岩国)で開催されました。会場は広く素敵ですが、音楽ホールということで、役者の声の残響が耳につきました。大会の方は観客が例年より少なく、少し残念でした。(宣伝が少ないのか…)講師は昨年中国大会審査員の篠崎光正先生(桐朋学園大学短期大学部教授)にお願いしました。先生の的確な演技指導や講評は生徒、顧問共に良い勉強となりました。上演各校の演技はどの学校もすばらしく、同じく審査に関わった私も大変良い経験となりました。また、例年通り生徒講評委員会を設けました。生徒審査委員は全国(今年の福井)での試みでは賛否両論有りますが、県内レベルでの設置については問題も少なく、好評だったように思います。生徒の演劇を鑑賞する目を養うには、よい機会だと思っています。(事実、生徒審査員賞も西京高校でした)

高校演劇にかかわり、早10年の月日が流れ、専門部理事長を引き受けて3年が過ぎました。この間、多くの人たちに出会い、演劇のすばらしさ、人の温かさを感じました。そんな中、世代交代の時期になり、かつての演劇部の生徒達が教壇に立ち、部活の指導をしている学校も出てきました。県央部の情報芸術センターのこけら落としや国民文化祭など、なにやら演劇界も忙しくなりそうな様相を呈しています。私も微力ながらこれからの発展に寄与していきたいと思っています。

放送部門

理事長 **大島 信子**
(岩国高等学校教諭)

平成15年度放送部門の活動状況を報告いたします。

1. 県高校総文祭総合開会式

本年度は、岩国総合高等学校主管のもと6月12日、シンフォニア岩国にて県高校総文祭総合開会式が行われました。放送部員が激減する中、新入部員にも熱い期待がかかりました。入部して2ヶ月足らずで、シンフォニアの大舞台に立つ生徒もあり、召集のかかった市内3校の放送部員は緊張して当日を迎えました。総合開会式は主管校の岩国総合高、音楽4部門発表会は高水高と岩国高で分担しましたが、限られた時間でのリハーサル。ぶっつけ本番のようなものでした。しかし、各校は分きざみのタイムテーブルやインタビュー台本を用意し、直前まで舞台袖でロールプレイを繰り返して、ステージに臨みました。スポットライトを浴び、観客の視線を一身に集めてもなんとか司会進行の大役を果たすことができました。マイクの前で原稿を読むことは一味ちがうインタビューの醍醐味を経験し、放送に関わる楽しさを発見できた2日間でした。

2. 全国総文祭・福井大会

8月11日、12日の2日間、福井県敦賀市で大会が行われました。今年は「郷土の詩歌」がテーマ。オーディオピクチャー部門に出場した山口農業高校は金子みすゞを選びました。みすゞの美しい詩を「ぼくら農高生」の視点で解釈し、命の尊さ・はかなさを伝え、会場を魅了し、優秀賞となりました。一昨年に続く受賞です。更にビデオメッセージ部門で、宇部高校の「カタバミ物語」が悩める高校生を等身大に映し出し、場内の共感を呼び、こちらも優秀賞となりました。

た。全国大会でのダブル受賞というこの快挙には本当にびっくりしてしまいました。

3. 県放送部研修会

減少する放送部員と比例し、減少する一方の番組作品をなんとかしようと、今回はNHK山口放送局より末広恭雄氏を講師に招き8月17日「ドキュメント番組を制作するにあたって」の研修会を開きました。今までの御自身の体験をまじえて、具体的に番組制作におけるいろいろなアドバイスをいただきました。11月の大会では例年並みの番組作品のエントリーがあり、主催者として安堵しました。来年は「アナウンス・朗読の基礎」の研修会を開く予定です。部員・顧問ともどもレベルアップするためにこの研修会を生かしたい思います。

4. 県高校総文祭放送部大会

11月2日、ニューメディアプラザ山口で第10回放送部大会が開かれました。今年度も一年生の参加が半数近くを占め、会場は新人戦のようなフレッシュな緊張感に包まれました。午前中の個人部門（アナウンス・朗読）のはりつめた空気から一転し、午後は少し余裕を持って各校の番組作品を視聴していました。最後に、プロの立場からの助言・評価を審査員からいただき、客観的に自らをみつめることができました。大会は絶好の切磋琢磨の場であると実感しました。



将棋部門

理事長 弘中敏之
(宇部高等学校教諭)

本年度は、山口県高等学校文化連盟に正式加盟して8年目となりました。また、本校が事務局となって2年目ということもあり、県西部の学校の中にも将棋への理解が徐々に深まってきた中で、3つの事業を実施しました。

1. 山口県高等学校総合文化祭

総合開会式の慶祝展示

柳井高校および宇部高校担当のもと、6月12日(木)から14日(土)にかけてシンフォニア岩国を会場に開催された総合開会式において部門大会の様子を収めたパネル写真2点が展示されました。

会場の設営に携わっていただいた岩国総合高校の瀬戸先生をはじめ多くの先生方や生徒の皆さんに大変感謝しています。

2. 第25回山口県高等学校総合文化祭

将棋部門大会 兼

第39回全国高等学校将棋選手権大会県予選

宇部高校担当のもと、5月24日(土)から25日(日)にかけて今年から会場を防府市文化福祉会館に移して開催されました。初日は男子団体戦に延べ12校から43名、二日目は男女個人戦に13校83名が参加し、各種目で熱戦を繰り広げました。初の二日制で団体と個人の両方に参加できることになり、参加人数も百名を超える大会となりました。

また、日本将棋連盟山口支部の方々の熱心な指導対局や交流対局も行われ盛況のうちに終えることができました。

3. 山口県高等学校文化連盟将棋専門部研修会

宇部高校担当により、11月2日(日)に防府市文化福祉会館で行われました。理事の諸先生を中心にした大会運営の研修と、1・2年生の男女13校50名の棋力向上を図る内容でした。

指導対局については、現朝日アマ名人山陽地区代表者の今村計二アマ四段(小郡町在住)の御協力をいただきました。

研修対局の結果は1位から以下のとおり。

○男子／藤里尚樹(岩国高校1年)・鶴沢秀之(豊浦高校2年)・初田隆宏(光高校2年)・野中洋志、酒井教光、境 恵輔(宇部高校2年)
○女子／高橋美紀(宇部高校1年)・新谷綾加、長谷川奈々(宇部高校2年)

なお、女子1位の高橋さんは、年末に鳥取市で行われた中国大会でも見事優勝を遂げました。



文芸部門

理事長 西村 佳子
(萩高等学校教諭)

今年、山口県高文連の14番目の専門部として、文芸専門部が立ち上がった。初めての年ということで、その活動も試行錯誤であったが、各学校の顧問の先生方がとても前向きであり、協力的で、1年目にしてはすばらしい成果を上げることができたと思う。

7月には、第1回文芸部門コンクールを開催し、21校117人の応募者を得た。9月末に全応募作品を掲載した作品集を作成し、応募生徒と顧問の推薦を参考にして、審査委員会で優秀作品を決定した。最優秀が宇部高校の中木村さん、優秀が下松高校の浅本さん、防府高校の中嶋さん、山口高校の静屋さんの3名で、その他13名が入選した。生徒が応募作品を推薦するために作品集を読む時間が短かったなど、反省すべき点は多くあるが、県内の文芸部員がお互いの作品をこれだけ多く読み合ったのは初めてであり、とても刺激になった。

10月25日に、セミナーパークで部門大会を開催した。19校114名の参加であった。梅光学院大学の出前講義をいただき、文芸誌を編集する際に留意すべき点を細やかにお話いただいた。午後は小説、詩、短歌俳句の分科会に分かれ、

作品批評を中心に意見を交換した。その後全体交流会に移り、少人数のグループに分かれての自由な話し合いの時間を持った。内気な生徒の多い文芸部なので、一部話し合いに参加できない者もいたが、ほとんどの生徒たちは、他校の生徒たちと話せてとても楽しかったようである。下の写真はその様子を写したものである。

以下、大会終了後に行ったアンケートの中から、生徒の生の声をお伝えしたいと思う。

*交流会がものすごく楽しかったです。昨年の文芸大会で知り合えた方と再会でできて、とても有意義な時間が過ごせました。とってもおもしろかったです。

*講演で話された先生のお話はなるほどなあと思う点がたくさんあった。やはり、読み手のことを意識して自己満足に陥らないように考えなければならないと思った。

*色々な考えを持っている人がたくさんいて、良い勉強になりました。驚くことが多く、また感心することも多かったので、こういう機会がもっとあればいいと思います。



第25回 山口県高等学校総合文化祭の記録

総合開会式

会場：シンフォニア岩国

主管校 瀬戸雅己

(岩国総合高等学校教諭)



第25回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は『鳴り響く鼓動 輝く夢 今、未来へ』をテーマとして、平成15年6月12日(木)13時からシンフォニア岩国を会場として、盛大に開催されました。翌13日(金)からの2日間は、音楽4部門発表会が開催され、3日間で延べ2,800名余りの出演生徒が県内各高等学校から参加しました。岩国地区での開催ということで、主管校である岩国総合高等学校だけでなく、岩国地区各高等学校の御協力を得て前年度から計画・準備を行い、万全を期して臨んだ大会でした。

総合開会式は、井原勝介岩国市長、藤井俊彦山口県教育委員会教育長をはじめ、多くの来賓の御臨席のもと、華やかな中にも厳粛に行われました。

式典は、岩国総合高等学校生徒会副会長・矢野粧子さんによるはつらつとした開会宣言と

もに、岩国地区合同吹奏楽団の演奏するきらびやかなファンファーレで開幕しました。続いて「高文連の歌」の演奏にのって今年度より新たに設立された文芸部門を含む高文連14部門のプラカードが入場し、ステージ上の式典態勢が整いました。

山口県教育委員会教育長、山口県高等学校文化連盟会長の、高校生による地域文化の継承と新しい文化の創造の推進に期待するとの挨拶に続いて、主管校生徒会長・西田達紀君が今年度のテーマを受けて、私たちの夢が未来で実現して輝いていくよう努力し、またこれからの時代を夢と希望にあふれた平和な時代にしていきたいとあいさつしました。岩国市長の歓迎のことばの後、山口県高文連表彰へと移りました。

「功績賞」は中邑立夫(元高文連事務局長)、中野靖子(日本音楽専門部)、青木幸子(放送

専門部)の3人の先生方でした。中邑先生は高文連事務局長、中野先生と青木先生は各専門部理事長としての御尽力を讃え表彰されたものです。「優秀芸術文化賞」は全国総文演劇部門で優秀賞・文化庁長官賞を受賞し、全国総文優秀校東京公演に出演した山口県立岩国総合高等学校演劇部に授与されました。表彰の最後に、今年度の山口県高等学校総合文化祭のテーマに選ばれた県立田布施工業高等学校3年生・貞安 綾さんに「テーマ最優秀賞」が授与されました。式典の最後に山口県高文連各専門部の紹介を行い、休憩ののち慶祝演奏に移りました。

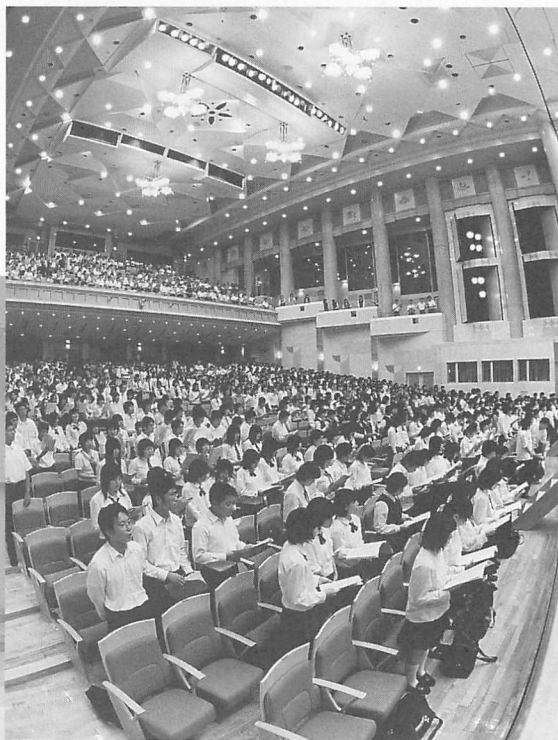
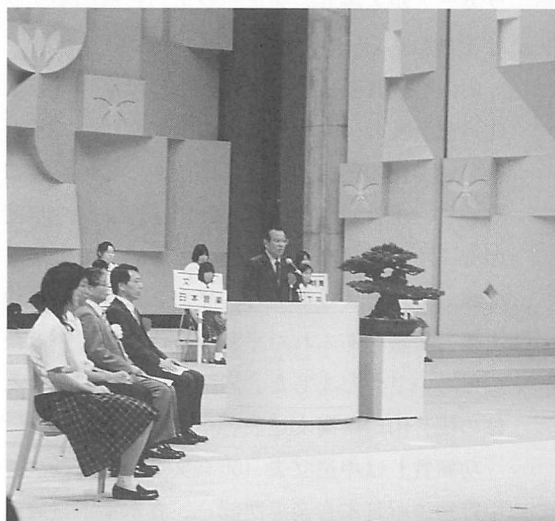
慶祝演奏は県立岩国商業高等学校吹奏楽部と誠英高等学校・慶進高等学校各バトントワリング部の合同による華麗なステージで開幕しました。続いて、県立岩国商業高等学校邦楽部による箏の演奏、岩国地区高等学校合同吹奏楽団による演奏、山口県高等学校合同合唱団と山口県高等学校合同管弦楽団による演奏が行われ、圧倒的な迫力と感動が会場内を包みました。最後に会場全体で「翼をください」を合唱し、2時間におよぶ総合開会式は幕を閉じました。なお、すべての進行・アナウンスは高文連放送専門部の御協力により岩国総合高等学校放送部が担当しました。

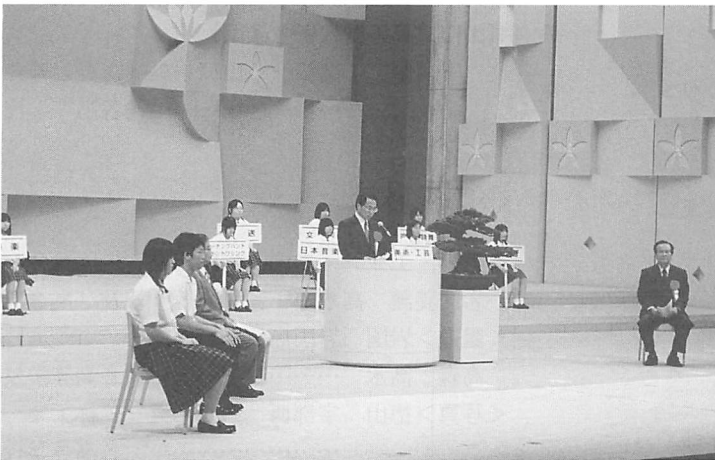
総合開会式と並行して行われた慶祝展示はシ

ンフォニア岩国企画展示ホールにおいて、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、演劇、文芸の7専門部で行われました。全国総文出品作品を含む素晴らしい作品が数多く展示され、大変好評でした。

今回、総合開会式を岩国総合高等学校が主管校として開催しましたが、翌日からの音楽4部門発表会は岩国地区4部門関係の先生方を中心に、放送専門部の御協力も得て盛大かつスムーズに進行することができました。また、慶祝展示は音楽4部門発表会の期間中も引き続き行われ、岩国地区の美術関係の先生方には大変お世話になりました。その他、会場外駐車場や車両誘導等岩国地区全体の協力態勢、校内の絶大な協力のおかげで重責を果たすことができたのではないかと思います。

最後にこの大会を開催するにあたり、地元岩国市をはじめ、関係諸機関、多くの先生方の御支援を賜り、無事終了することができましたことを心からお礼申し上げます。





▲表彰式風景

▶稲垣弥生・藤中さおりさん(岩国総合高校)
のイラストを基にしたポスター



▼慶祝展示



▼受付風景



◇慶祝演奏

<マーチングバンド・バトントワリング>

『バック トゥー ザ フューチャー』

『カウボーイ』

【演奏】県立岩国商業高等学校吹奏楽部

(指揮) 藤本博途

誠英高等学校・慶進高等学校

各バトントワリング部

<日本音楽>

『春を呼ぶ二つのソネット』

【演奏】県立岩国商業高等学校邦楽部

<吹奏楽>

『祝典序曲』

『ブラボー・プラス!』

【演奏】岩国地区高等学校合同吹奏楽団

(指揮) 上田憲明

<合唱・器楽・管弦楽>

“オラトリオ《メサイア》より

『ハレルヤ・コーラス』”

“カンタータ《土の歌》より『大地讃頌』”

【演奏】山口県高等学校合唱団

山口県高等学校管弦楽団

(指揮) 上田綾子

<全員合唱>

『翼をください』

【演奏】山口県高等学校合唱団

山口県高等学校管弦楽団

(指揮) 上田綾子

<放送>幕間出演及び進行アナウンス

山口県高等学校文化連盟放送部会

◇慶祝演奏出演校

【マーチングバンド・バトントワリング】

岩国商業 誠英 慶進 …… 各高等学校

【日本音楽】岩国商業高等学校

【岩国地区高等学校合同吹奏楽団】

岩国 岩国総合 岩国工業 高森 高水

…………… 各高等学校

【山口県高等学校合唱団】

野田学園 山口中央 中村女子 サビエル

宇部 岩国 防府 萩 奈古 宇部中央

高水 長府 …………… 各高等学校

【山口県高等学校管弦楽団】

下関南 下関第一 山口中央 防府 柳井

…………… 各高等学校

◇慶祝展示

<美術・工芸> 岩国 岩国工業 岩国総合

岩国養護 高水 …… 各高等学校及び高等部

<書道> 岩国 岩国商業 岩国総合

高森 高水 …………… 各高等学校

<写真> 徳山 宇部西 宇部工業 美祢工業

…………… 各高等学校

<囲碁> 宇部高等学校

<将棋> 柳井 宇部 …………… 各高等学校

<演劇> 長府 岩国総合 華陵… 各高等学校

<文芸> 山口高等学校 他

◇進行アナウンス

岩国総合高等学校放送部

山口県高等学校文化連盟放送部会

◇山口県高等学校文化連盟 表彰者

【功績賞】

・中邑立夫

平成6年度～11年度山口県高文連事務局長

・中野靖子(日本音楽専門部)

昭和62年度～平成8年度

山口県高文連日本音楽専門部理事長

・青木幸子(放送専門部)

平成6年度～14年度

山口県高文連放送専門部理事長

【優秀芸術文化賞】

・山口県立岩国総合高等学校演劇部

【第26回全国高等学校総合文化祭演劇部門

優秀賞・文化庁長官賞】

【第13回全国高等学校総合文化祭

優秀校東京公演に出演】

【テーマ最優秀賞】

・山口県立田布施工業高等学校 貞安 綾

音楽関係 4 部門発表会

器楽・管弦楽部門

会場：シンフォニア岩国

理事長 飯田幸生

(下関南高等学校教諭)

平成15年度第25回山口県高等学校総合文化祭の音楽関係4部門発表会は6月13日(金)、14日(土)の2日間にわたりシンフォニア岩国において開催されました。また、前日12日の総合開会式においては、満員の聴衆のもと、合唱部門との合同で式典の慶祝演奏を行いました。

今年度も去年に引き続き合同オーケストラを編成し、県下5校の管弦楽部の代表達が集い、100名を越える大編成で演奏できました。演奏曲目は去年に引き続き、ヘンデル作曲のオラトリオ「メサイア」から“ハレルヤ・コーラス”そして佐藤眞作曲のカンタータ「土の歌」より“大地讃頌”の2曲を演奏しました。今年も合同練習は当日の午前中のみという厳しい状況の中、岩国総合高等学校の上田先生の躍動感溢れる美しい指揮のもとで、開幕式典にふさわしく

荘重で輝かしい音楽が見事に演奏されました。その演奏は多くの聴衆に深い感銘を与えたことと思います。

さて、翌日の朝から2日間にわたって開催された音楽関係4部門発表会には器楽・管弦楽部門からオーケストラ4校、ギター・マンドリン合奏2校、弦楽合奏1校が参加いたしました。多数の吹奏楽部門の参加校に混じって、その演奏は一服の清涼剤ともいえるすがすがしい演奏でした。各校ともに弦楽器の艶やかで柔らかな音色を備えた立派な演奏で、大会を大いに盛り上げました。

次回の長門大会ではさらに練習に励み、研鑽を積んだ成果を十分に発揮されることを期待しています。



合唱部門

会場：シンフォニア岩国

理事長 有 富 美 子

(萩高等学校教諭)

平成15年度第25回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月12日(木)「シンフォニア岩国」にて、盛大に開催されました。例年のように器楽・管弦楽部門と合唱部門と合同で慶祝演奏に参加しました。オーケストラとの大合唱(岩国、高水、山口中央、野田、中村女子、宇部、宇部中央、サビエル、防府、萩、奈古、長府の12校計193名)は、ホール一杯に美しく響き渡り、満員の聴衆の方々に深い感銘を与えたことと思います。日頃小人数で演奏活動をしている生徒達にとっては、とても貴重な体験でした。音響の素晴らしい会場は、一段と気持ちよく、力強く、素晴らしい演奏をすることができまし

た。

また、音楽4部門の発表は6月13日(金)、14日(土)の2日間にわたり、高校生の熱気あふれる演奏が続きました。合唱部門の出演校は、11校(長府、宇部中央、萩光塩、高水、山口中央、萩、野田、奈古、宇部、岩国、防府)、出演者は185名でした。会場一杯に美しく柔らかな歌声が響き渡り、一人一人の歌う表情が豊かで、各校工夫された個性溢れる演奏でした。

来年度は、“ルネッサ長門”で開催されます。さらに練習に励み、一人でも多くの合唱仲間を増やしていきましょう。また来年も素晴らしい演奏を期待しています。



吹奏楽部門

会場：シンフォニア岩国

理事長 藤本 博 途

(岩国商業高等学校教諭)

平成15年度第25回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は、6月12日(木)シンフォニア岩国で開催されました。吹奏楽部門として例年どおり開幕式典に岩国地区高等学校合同吹奏楽団(岩国 岩国総合 岩国工業 高森 高水各高等学校)を編成し、広瀬高等学校の小松秀之先生の指揮で、ファンファーレ、高文連の歌で華やかに開幕しました。慶祝演奏では岩国高校の上田憲明先生の指揮で祝典序曲、ブラボー・プラス!の2曲を力強く演奏しました。

音楽4部門発表会は翌13日(金)と14日(土)の2日間にわたって開催されました。吹奏楽部門には54校1,844名の生徒が参加し、素晴らしい演

奏を披露してくれました。少子化が続き部員が少なくなっている学校もありますが、演奏力は衰えておらず、各校とも素晴らしい演奏でした。一日目の最後は岩国商業高校(藤本博途指揮)の伴奏で、二日目の最後は岩国高校(上田憲明先生指揮)の伴奏で『翼をください』を全員合唱し、感動の中で閉幕しました。主管校の岩国総合高校を始めとして、岩国地区の生徒補助員の動きや態度が例年以上に大変素晴らしく、高校生らしかったことも特筆されます。

来年度はルネッサながとで開催されます。また素晴らしい演奏が聴けることを期待しています。



マーチングバンド・バトントワリング部門

会場：シンフォニア岩国

理事長 熊野文政
(佐波高等学校教諭)

第25回山口県高等学校総合文化祭では、総合開会式が平成15年6月12日（木）に、続く6月13日（金）と14日（土）に音楽4部門発表会がシンフォニア岩国を会場に開催されました。

総合開会式における慶祝演奏では、マーチングバンド・バトントワリング部門の代表として、岩国商業高等学校吹奏楽部のマーチングと、誠英・慶進高等学校各バトントワリング部が合同の演奏・演技を披露しました。慶祝演奏のトップを飾るにふさわしく、迫力あるステージドリル「バック・トゥ・ザ・フューチャー」に始まり、「カウボーイ」でバトントワリングの観客席の通路も使った演技が加わると、まさに「文化の風」が会場いっぱいに広がるようでした。特に今年は「光」を使ったステージの演出がすばらしく、さらに雰囲気盛り上げていました。

音楽4部門発表会では、本部門は全て6月13日（金）の出演となりました。バトントワリングでは、誠英高等学校の「FLYING UP!!」と慶進高等学校の「Enjoy Dancing」の2校が日頃の練習の成果を発表しました。技術的にも大変高く、会場から大きな拍手を受けていました。マーチングにも2校が参加し、佐波高等学校は「マーチング・ミスチル」でステージいっぱいを使ったドリルを披露し、山口県鴻城高等学校は「GLANDIATOR」で高い技術と凝った演出で会場を湧かせていました。シンフォニア岩国のすばらしい音響とステージの広さは、本部門にとって大変よかったと思います。また、岩国地区の先生方、生徒のみなさんにより、大変スムーズな運営が行われましたことに感謝いたします。



日本音楽・吟詠部門

会場：光市民ホール

主管校 河合道子

(聖光高等学校教諭)

第25回山口県高等学校総合文化祭・日本音楽部門の発表大会が、平成15年6月14日（土）、光市民ホールで開催されました。外は時折小雨の降る生憎の天候でしたが、会場内は高校生のエネルギーに満ちていました。この会の開催にあたり、山口県高等学校文化連盟はじめ、多くの皆様のご参加とご協力を頂き、本大会を無事終了することができましたことを心より御礼申し上げます。今年度は日本音楽箏曲部門を中心に、早鞆高校による郷土芸能の平家太鼓、中村女子高校の合吟、誠英高校による仕舞などの計17校19演目の出演を頂きました。また、昨年度から行われるようになった合同演奏では、昔から歌い継がれてきた日本のわらべ歌の合奏が行われ、日本音楽部の生徒同士が交流を持つ絶好の機会となりました。生徒の中には運動部に比べて接点の少ない自分たちにとって非常に良い思い出になったという者も多数おりました。

近年、高校生の日本音楽離れによって、各校、部員確保に苦慮されている現状があります。しかし、日本の伝統音楽、伝統芸能を受け継ぎ、伝承していこうと活動している生徒たちはとても生き生きとした取り組

みをしており、毎回各校とも、この大会に向けて練習を積み、趣向を凝らした演奏をされています。出演する生徒たちに満場の中で演奏してもらいたい、その演奏を同じ高校生に是非聞いてもらいたい、その思いから、今大会は主管校である本校の全校生徒が、客席にて鑑賞する事となりました。始めは聴き慣れない日本音楽を長時間聴くことに抵抗を感じる生徒もおりましたが、演奏が進むうちに、「この曲が好きだ」「息が合っている」「美しい音色が出ている」など、新たな分野の感性が僅かながらも高まり、大変貴重な経験をする機会となりました。

日本音楽は今又注目されつつあります。そして、全国には日本音楽に打ち込む多くの高校生がいます。是非若いエネルギーで、これからも、この心癒すすばらしい伝統部門を発展させていてもらいたいと思っています。



展示 3 部門

会場：周南市美術博物館

美術・工芸、書道、写真部門

主管校 藤川明徳
(徳山高等学校教諭)

県下のそれぞれの分野のすばらしい作品が周南市美術博物館（11月7日から9日）に集まり、全国への切符を得ようと競い合われました。

最終日の11月9日には、全国への出場権を得た人達の表彰式が、その後、作品の講評がそれぞれの会場で行われました。

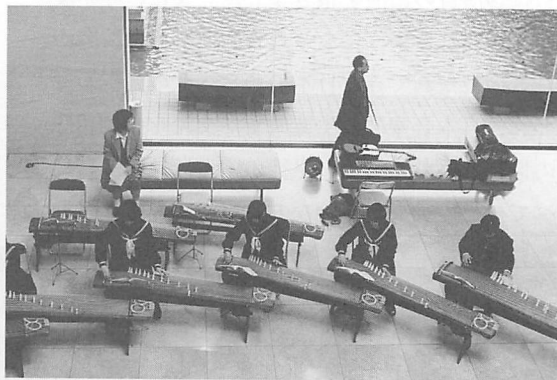
今回の展示会で変わったところは、静かな美術館に生の音楽が流れたことです。徳山高校の軽音楽、琴、ブラバンの生徒による生演奏が1時間くらい演奏されました。来館された人は場所を間違えたかと思われたらしく、吃驚した顔をされていたがしばらくきれいな音色に耳を傾けた後、会場へ入られ、生のBGMを耳にし

ながら、作品を鑑賞しておられました。

昨年と比較すると出展数は減少しているのに、会場が狭く作品が溢れている感じでちょっと窮屈でした。

地理的な環境も、これ以上望めない場所であるにもかかわらず肝心の高校生の来場者が少ないのは残念です。この会場で選ばれた作品は全国でも高い評価を受ける作品でもあります。

高校生諸君、このような機会に同級生の作品を見てそのすばらしい才能を再認識し、鑑賞する力を養いましょう。



美術・工芸部門

総出品展数111点中、絵画70点、デザイン34点、彫刻・工芸7点という構成であった。点数の違いはあれ、それぞれの分野でレベルの高い作品が多く見られたことは、うれしいかぎりである。会場の周南市美術博物館は、きれいでとても良い会場であったが、ただ作品数に比べて会場が狭かったため、やむを得ず2段がけ展示になってしまったことがおしまれる。

さて、全国大会の事を考えると、平成18年の京都大会より出品規定が変更となる。現在の絵画、デザイン・彫刻、工芸という枠組みから平面と立体という枠組みになることで、作品点数が現在よりも数点多く出せるような状況となる。全国へ一人でも多くの生徒が参加して、全国のレベルを体験してほしいと願う者として、これにまさるチャンスはない。いろいろと諸事情はあるが、山口県のレベルの高さを全国に示し、さらなる発展のためにも、この機会をのがしたくないものである。(理事長：古賀)

書道部門

書道部門には、県内31校より81点が出品され、会場の周南市美術博物館の広い展示室は、所狭しと展示された高校生の作品から発するエネルギーに満ち満ちていました。

生徒数の減少や、それに伴う担当教員の減少により、年々書道部の活動が難しくなる中、昨年より参加校が5校増え、作品も例年並みに出品されたことは、ひとえに各校の顧問の先生の御協力によるものと、深く感謝しております。

また、81点の中から、厳正な審査により、来年の全総文徳島大会への出品候補作品4点を含む優秀賞8点が選ばれました。

年に一度、県下全域にわたって高校生が一堂に会するこの文化祭の意義の大きさを感じ、今後ますます多くの高校生の参加を得て発展していくことを願ってやみません。(理事長：有富)

写真部門

今年度の展示部門(写真)展示は、平成15年11月7日(金)から9日(日)までの3日間行

われました。前日の6日(木)に60点の展示作品のうちから、優秀作品7点を選出する審査を行いました。

今年度の審査委員長には、二科会写真部会周南支部の堀田俊秀氏にお願いしました。優秀賞7点の選出の後、さらにその中から全国高等学校総合文化祭徳島大会の出展候補作品5点(1、2年生の作品のみ)を選抜しました。詳細は、本冊子の優秀作品一覧をご覧ください。

全県的に、部活動の統廃合が進んでおり、写真部員も徐々に減少していますが、今年度は参加13校から多数の自信作が出品されました。今年度も昨年度に続き、カラー写真の出品が増えました。また、宇部工業高校、西京高校からは学校最大枠の10点の応募がありました。

また、組写真の応募も増えました。各高校で顧問の先生方も、初心者の方の指導に奮闘されている様子で、写真部会の活性化のご努力に感謝致します。また、主管校の役員として徳山高等学校の藤川先生をはじめ、会場の設営立案・現場指示などに協力頂いた藤井先生ほか、運営役員の各先生方に感謝と御礼を申し上げます。

最終日の9日(日)の午前中には、周南市動物園にて、写真部会主催の撮影研修会を、参加教員・生徒計27名で実施しました。天候もやや曇りの撮影に適した状況で、顧問の先生方と部員たちが、写真撮影を通して、普段では味わえないふれあいが持てる有意義な催しとなりました。

恒例の撮影会作品コンテストでは、最優秀に光高校2年の小林真由美さんの、アシカを被写体にした作品が、優秀賞には同じく光高校2年の重田真由美さんのヤギと子供ツーショットの作品などが入賞しました。

理事長を中心として、こういった研修会をできるだけ多く実施し、山口県のレベルの向上に努めていきたいと思えます。各高校においても毎年度、生徒会費などから県総文展示部門大会の観覧旅費、または撮影研修会への参加旅費の捻出などが可能となれば、この取り組みもさらに活性化してくると思えます。

各顧問の先生方のほうからも部会の活性化に向けて、校内での働きかけにご尽力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(理事長：佃)



第25回 県総文祭展示部門出品校一覧表

	学 校 名	美術・工芸	書 道	写 真		学 校 名	美術・工芸	書 道	写 真
1	岩 国	4	4		26	宇 部 中 央		3	
2	岩 国 総 合	3	3		27	宇 部 西	5	3	3
3	岩 国 工 業	5			28	宇 部 商 業	5	2	
4	岩 国 商 業		1		29	宇 部 工 業			10
5	高 森		4		30	厚 狭	5	3	
6	柳 井	3			31	小 野 田			6
7	柳 井 商 業	5			32	小野田工業			3
8	柳 井 工 業	2			33	豊 浦	3		
9	熊 毛 南		1		34	長 府	5		
10	光		1	2	35	下 関 西		4	1
11	光 丘	1		2	36	下 関 第 一		4	
12	熊 毛 北		4	8	37	萩	5		
13	下 松		3		38	萩 商 業	4	4	
14	下 松 工 業			2	39	萩 工 業	2		
15	華 陵		1		40	下 関 商 業	3	2	
16	徳 山	3	4	4	41	鰐 戸	3		
17	徳 山 北		3		42	防 府 養 護		1	
18	徳 山 商 業		1		43	下 関 養 護	3		
19	新 南 陽	4			44	高 水		4	
20	防 府	5	3		45	中 村 女 子		3	
21	防 府 西	3	1		46	野 田 学 園		1	
22	山 口	5	4	9	47	慶 進	5		
23	山 口 中 央	5	4		48	サ ビ エ ル	1		
24	西 京	4		10	49	萩光塩学院	5	4	
25	宇 部	5				全県共同作品		1	

合 計 111 81 60

第25回 県高総文祭展示部門・優秀作品一覧（全総文候補作品）

美術・工芸部門

高等学校名	学年	氏名	作品名	全総文候補作品
柳井高等学校	1	濱田香織	静	○
徳山高等学校	2	末次奈津重	明くる前	○
防府高等学校	2	山田 崇	イラストレーション	○
豊浦高等学校	2	田尾松太	時間とは絶えずうねり続けている流れである	○
下関商業高等学校	2	佐々木 梢	真珠	○
岩国高等学校	2	北野未希	櫻のある家	
柳井高等学校	3	木森雄太	Ironworks	
柳井工業高等学校	1 2 3	谷山和優 大田智幸 秋本秀幸	カラスのカー子	
徳山高等学校	2	斉藤裕子	涅槃寂靜	
新南陽高等学校	2	中島真里香	赤の決意	
宇部高等学校	2	川原智美	なつやすみ	
厚狭高等学校	3	清水美樹	WORLD	

書道部門

高等学校名	学年	氏名	作品名	全総文候補作品
徳山高等学校	2	磯村浩一	「馬」	○
防府高等学校	2	中川理恵	臨 史晨前碑	○
山口中央高等学校	2	和田奈津季	山居	○
下関第一高等学校	1	安野 豊	臨 張遷碑	○
高森高等学校	3	中原千穂	新古今のうた	
下松高等学校	3	梅本禎之	臨 蘭亭序	
山口高等学校	2	黒澤朋子	臨 呉讓之 宋武帝興臧勅	
高水高等学校	2	我妻実歩	臨 鄭羲下碑	

写真部門

高等学校名	学年	氏名	作品名	全総文候補作品
熊毛北高等学校	1	河原洋美	夫婦	○
下松工業高等学校	2	國弘健太郎	山野草	○
西京高等学校	2	古谷峰子	フルート	○
宇部工業高等学校	1	中尾将太	ウォーターボーイ	○
宇部工業高等学校	1	坂本靖憲	残像	○
光高等学校	3	景浦 愛	I can't take my eyes off you	
徳山高等学校	3	草刈菜穂美	閑	

※第28回全国高総文祭（徳島大会）候補作品は、上記の美術・工芸5点、書道4点、写真5点

囲碁部門

会場：宇部高等学校

理事長 守田 正志

(宇部高等学校教諭)

第25回山口県高校総合文化祭囲碁部門・第15回大会兼第28回全国高等学校文化連盟囲碁部門第17回大会県予選…この長ったらしいタイトルには困ったものですが、しかし歴史を感じさせてくれます。今年度参加した1年生と山口県の高文連囲碁部門は、同時に産声を上げたのです。

今年度の大会は、10月26日(日)、山口県立宇部高等学校を会場に、13校から生徒数81名の参加で開催されました。この中には、初めての参加の私立高校1校・選手1名が含まれています。

段級位認定はハンディ戦で、代表決定は選抜された者が互戦で打つ、昨年と同様の競技方法を採用しました。大会日程に制約があるなかで、最善の方法を模索しているところです。

この大会の結果は次の通りです。

<団体戦>男子 優勝 山口高等学校
準優勝 防府高等学校
女子 優勝 宇部高等学校
準優勝 防府商業高等学校

<個人代表決定戦>

男子 優勝 植橋賢太郎 下関西高等学校
女子 優勝 藤井 麻美 宇部高等学校

<団体代表決定戦>

男子 優勝 山本 裕徳 防府高等学校
優勝 藏重 宏章 山口高等学校
女子 優勝 埋田奈央子 宇部高等学校

それぞれ優勝(代表)の5名は、平成16年8月2日(月)、3日(火)に徳島県で開催される全国大会に参加する予定です。

また、この大会を参考にして12月の中国大会の代表も決定したのですが、それにより代表となった山口高校の男子と宇部高校の女子が中国大会で団体準優勝を果たしました。

ところで、前述した競技方法を含めて、次のようなことが課題として話題になりました。会場は山陽本線沿いが良いのではないかと、2日間の開催にしてはどうか、女子の参加を促すにはどうしたらよいか、などです。

当日は体育館の解体工事で雑然とした状況でしたが、生徒の皆さんの熱意と真摯な対局態度で大会を成功裏に終えることができました。また、生徒の引率に加えて大会役員として御尽力いただきました先生方及び大会の開催に際して御挨拶を賜りました関係各位に対して厚くお礼を申し上げます。



演劇部門

会場：シンフォニア岩国

理事長 村岡 圭吾

(山口県鴻城高等学校教諭)



10月25日(土)・26日(日)にシンフォニア岩国で県総合文化祭演劇部門・県大会が開催されました。

会場は例年通りコンクール形式の発表ということと、広くて素敵な会場ということもあり、中国大会への参加枠を競うという意味だけでなく、芸術文化に触れるという雰囲気の中で会場全体が熱気に包まれていました。(ただ、音楽ホールということで役者の台詞の残響音が耳に残りました。)

舞台は昨年より1校少ない7校の上演となり少し寂しい感じもしましたが、創作あり、古典ありとバラエティに富んだ山口県の演劇の性格がよく出ていました。(事実最近の全国の傾向は学園もの中心)山口の高校生の演技力のすばらしさを感じた大会でした。

審査員の講評では舞台作りの上での大道具の処理や照明の使い方、また脚本づくりにいたるまで、多くの講評・指導を熱心にしていただきました。最優秀賞は西京高校と華陵高校に決まりました。

今大会でも専門部の生徒活動を発展させるため生徒講評委員会をもうけ、生徒の視点から特別賞を西京高校に授与しました。生徒の演劇を見る目も審査結果と同じでその確かさを如実に語っているようにも思えました。

大会運営には出場校以外の顧問・生徒が多数参加し、県大会を成功させるために全員が協力していました。高校生が自分たちの勝敗と関係なく他校の生徒のために汗を流している姿は大変感心しました。



高校演劇は高校生の高校生による高校生のための演劇ですが、それに関わる多くの人達がいることを忘れてはいけません。顧問の先生はもちろんのこと、主管校の各先生、審査をしていただく先生、演劇を見に来てくれた多くの観客、会館のスタッフなど様々な人達に支えられています。だからこそ演劇は総合芸術と呼ばれるのかも知れません。年々山口県の演劇レベルは上がっているように思えます。演劇を勝ち負けで判断することなくいろんな人に触れてもらうためにもこの県総合文化祭を盛り上げていきたいと思っています。

第25回山口県高等学校総合文化祭演劇部門

第22回山口県高等学校演劇大会

出場校・上演作品一覧

学 校 名	作 品 名	作 者 名
岩 国 総 合	「Oh,My Sister!」	中村岡 智樹
宇 部 西	プロジェクト☆D	演劇部
西 京	ヴェニスの商人	W・シェイクスピア
下 関 第 一	「七人の部長」	越智 優
華 陵	NO NAME	迦陵頻伽
長 府	美術室の人々	河内美千恵
岩 国	いつか僕をさがして	谷崎 淳子

<講師・審査員>

太宰久夫(演出家・玉川大学芸術学部助教授)

山口武信(劇作家) 村岡圭吾(山口県鴻城高等学校)

放送部門

会場：ニューメディアプラザ山口

理事長 **大島 信子**
(岩国高等学校教諭)

11月2日、岩国高校主管のもと、ニューメディアプラザ山口で第10回放送部大会が開かれました。放送部会発足以来、絶大なる指導力で放送部会を率いてこられた理事長の青木幸子先生が研究のため職をお離れになり、心細さを感じながらも、何とか大会開催へとこぎつけることができました。参加人数、参加作品は例年どおりで、1年生の出場が今年も目立ちました。

朗読・アナウンスのテーマはそれぞれ「地域の作家・地域の問題を全国の仲間に伝える」です。知っているようで知らないふるさと山口の新情報を耳にし、「へえー」とうなづき、うれしい郷土再発見となりました。胸をはってふるさとの自慢ができそうです。これからも、すぐそこにある素材から、きらりと光る情報を見つけだし、上手に伝えられたらいいなという思いを新たにしました。

審査には山口放送の中谷隆宏アナウンサーが昨年に引き続き担当して下さいました。今年は発表者ひとりひとりに講評がいただけ、部員は真剣な面もちで耳を傾けていました。プロからの個人的なアドバイスはめったにいただけるものではありませんので大好評でした。早速明日からの練習に取り入れていきたいと思います。

ビデオメッセージ・オーディオピクチャー部門の審査担当は今年で3回目の山口放送テレビ制作部長、赤瀬洋司さんです。今年の作品は個性豊かでとてもレベルが高く、どれも今までの全国大会出場級だとのことばをいただきました。代表には選ばれなかったものの、ユーモアセンスや、構成、音楽の使い方などそれ

ぞれの作品のよい点を述べていただいたり、更に改良すべき点などをわかりやすく指摘していただき、とても参考になりました。次なる作品への意欲をおおいにかき立てられるお話でした。

来年度の全国総文祭徳島大会に推薦されたのは次のとおりです。

◎アナウンス部門／

最優秀賞 岩国高校 伊村友希

優秀賞 熊毛南高校 中野由里

山口高校 伊藤尚子

◎朗読部門／

最優秀賞 山口高校 金子 愛

優秀賞 華陵高校 林 真里

熊毛南高校 吉山はるか

◎ビデオメッセージ部門／

最優秀賞 岩国総合高校

「幸福の言葉 岩国を愛した千代

さんからのメッセージ」

◎オーディオピクチャー部門／

最優秀賞 山口農業高校

「ぶち食べたい はなっこりー！」



将棋部門

会場：防府市文化福祉会館

理事長 弘中敏之

(宇部高等学校教諭)

第25回山口県高等学校総合文化祭将棋部門大会は、全国高等学校総合文化祭将棋部門兼第39回全国高等学校将棋選手権大会の県予選を兼ねて、5月24日(土)・25(日)の2日間開催されました。初の2日間開催ということもあり関係諸団体との緊密かつ安定した連携の下、以前にも増して盛り上がりを見せた大会となりました。県高文連会長の山賀校長先生をはじめ県教育委員会指導課の定行指導主事、また事務局の角中先生をお迎えしました。二日制ということもあり延べ人数では126名(男子119名、女子7名)と昨年を大幅に上回る参加者となりました。

まず、第1日目の男子団体戦では12チームが2組に分かれて予選リーグを行い、各組上位2チームが決勝トーナメントを戦いました。

第2日目の男子個人戦では76名によるトーナメント戦が行われました。3回戦までは20分切れ負け制で行われ、選手には厳しい持ち時間となりましたが、敢闘賞をめざす交流対局や指導対局が行われました。

女子個人戦では7名によるリーグ戦が行われ、持てる力を存分に発揮した好局が続きました。

結果は次の通りです。

<団体戦>

優勝…宇部高等学校A

(山本 慎・刈谷吾有太・正司 康)

準優勝…宇部高等学校B

(長岡佑典・酒井教光・河野 健)

第三位…下松高等学校

(梅山裕大・梅山大樹・岩永高志)

<男子個人戦>

優勝…河野 健(宇部高等学校)

準優勝…梅山大樹(下松高等学校)

第三位…藤里尚樹(岩国高等学校)

<女子個人戦>

優勝…山田沙耶香(防府高等学校)

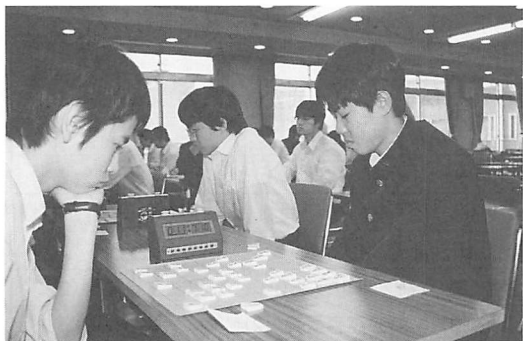
準優勝…藤田 愛子(防府高等学校)

第三位…長谷川奈々(宇部高等学校)

なお、団体戦と男女個人の優勝者は、福井県大野市で開催された全国総合文化祭への出場権を得ました。また、敢闘賞には宇部高校の中嶋祥吾君と前田拓郎君が輝きました。

近年、生徒数の減少に伴って高校将棋を取り巻く環境にも厳しいものがありますが、にもかかわらず参加生徒は増加傾向にあります。これも偏に皆さんの深いご理解とご協力の結果であ

ると思います。この機運を礎に、一層の発展とレベルの向上を期待しています。



第27回全国高等学校総合文化祭の記録

心の泉よりわき出る文化よ 大河となり海を成せ'03福井

全総文祭(福井大会)参加校一覧

部 門	高 等 学 校	参加 生徒数	備 考 (演奏曲目・作品等)
パ レ ード	誠 英	(17)	(2校合同出演) バトントワリングに出演
	慶 進	(15)	
演 劇		0	
合 唱	県 立 岩 国	18	演目「Alma Redemptoris Mater」「ほたるこい」「烏かねもん勘三郎」
吹 奏 楽	県 立 防 府 西	75	演目「March for Hofu-hisho～飛翔～op.3」「DISNEY'S FANTILLUSION!」
器 楽 管 弦 楽	県 立 防 府	75	演目 行進曲「威風堂々」第一番 スター・ウォーズ「帝国の逆襲」メドレー
日 本 音 楽	聖 光	11	演目 祭太鼓
マーチングバンド		0	
バトントワリング	誠 英	17	演目 「FLYING UP!!」
	慶 進	15	
美 術 ・ 工 芸	県 立 宇 部 商 業	1	絵画「GUARDIAN SPIRIT」大元あゆみ (3)
	県 立 防 府	1	デザイン「いのち」長嶺諒介 (2)
	県 立 山 口	1	彫刻・立体「JUMPING KID」寺田幸子 (3)
	県 立 長 府	1	絵画「淋しいアトリエ」植村直子 (3)
	県 立 徳 山	1	絵画「es (エス)」松原友紀 (3)
書 道	県 立 宇 部 西	1	漢字「臨 石門頌」西村 緑 (3)
	県 立 下 関 西	1	漢字「臨 魏靈藏造像記」樋口恵子 (3)
	県 立 厚 狭	1	漢字「臨 雁塔聖教序」徳久紘子 (3)
	萩 光 塩 学 院	1	漢字「臨 蘭亭序」村木智美 (3)
写 真	県 立 美 祢 工 業	1	組写真『田んぼの半年』村岡広基 (3)
	県 立 徳 山	2	単写真『野球部の小さなお母さん』西嶋 基 (3) 『柔道一直線』河清真和 (3)
	県 立 宇 部 工 業	2	単写真『たのんだぞ!! まかせとけ!!』山村悠介 (3) 『悲しみ』若松 誠 (3)
囲 碁	県 立 宇 部	1	個人戦(女子) 藤井麻美 (2)
	県 立 下 関 西	2	団体戦(男女混合)萩 恵里子 (3) 個人戦(男子) 植橋賢太郎 (2)
	県 立 萩	1	団体戦(男女混合) 吉津宏樹 (3)
	県 立 下 関 工 業	1	団体戦(男女混合) 工藤弘志 (2)
放 送	県 立 華 陵	1	朗読 林 真里 (2)
	県 立 山 口	2	朗読 古本菜穂子 (3) アナウンス 岡本奈緒美 (2)
	県 立 下 松	1	アナウンス 山本沙織 (3)
	県 立 山 口 中 央	2	朗読 中山美穂 (2) アナウンス 武安佳孝 (2)
	県 立 宇 部		ビデオメッセージ「かたばみ物語」
	県 立 山 口 農 業	2	オーディオビクチャー「みすゞとぼくらと」
将 棋	県 立 宇 部	4	団体戦(男子)山本 慎(3) 刈谷吾有太(3) 正司 康(3) 個人戦(男子)河野 健(1)
	県 立 防 府	1	個人戦(女子) 山田沙耶香 (3)
文 芸	県 立 柳 井 商 業	3	文芸誌／松葉静香(2) 詩／米川敦子(2) 短歌／友貞愛紀(2)
	県 立 山 口 中 央	2	散文／小田真菜美 (3) 詩／高森愛美 (2)
総 合 開 会 式	誠 英	1	藤井美穂 (2)

合計 参加生徒数 304名

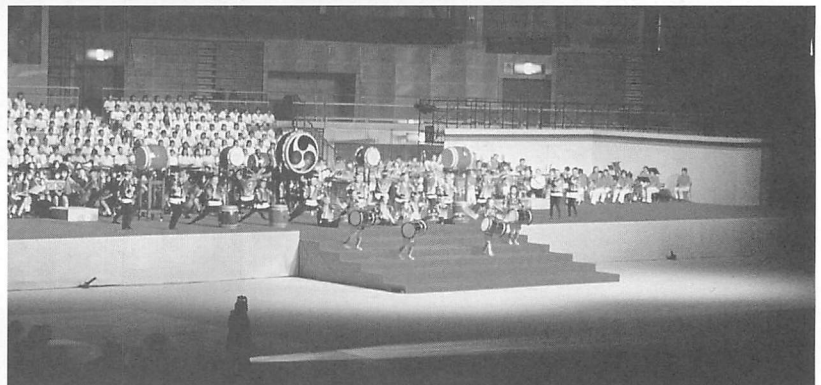


▲市街パレード

▼式典



▼フィナーレ



器楽・管弦楽部門

会場：福井県立音楽堂

防府高等学校

3年 渡部 雪乃

防府高等学校には、合唱部と弦楽部と吹奏楽部の3部があり、日頃はそれぞれ各部で分かれて活動していますが、定期演奏会では3部合同演奏をしたりしています。今回の全国高等学校総合文化祭には、弦楽部と吹奏楽部が1つになって、器楽・管弦楽部門に参加しました。

管楽器と弦楽器という全く違う楽器をあわせてみると、いつもと違う緊張感が味わえ、そのうえとても設備の良いところで演奏ができ、心から楽しむことができました。弦楽部は33人、吹奏楽部は67人、計100人という大人数で1つの曲を作り上げることは簡単なことではなかった

し、日々の練習ではなかなかうまくいかなかったりして、とても苦労しました。そのため終わってみると、満足感や充実感でいっぱい、とてもいい経験ができました。毎年ある県の総合文化祭ではなく、めったに行くことのできないこの全国高等学校総合文化祭に参加することができ、青春の1ページとして、部員一人一人の心の中に深く刻まれ、それぞれの絆も深まったことでしょう。

最後となりましたが、このような素晴らしい機会を与えてくださった方々や、ご指導してくださった諸先生方に、心から深くお礼申し上げます。

最高の思い出をありがとうございました。



合唱部門

会場：敦賀市民文化センター

岩国高等学校

3年 山岡 真弓

この夏は私たちにとって、大変思い出深く、忘れられないものとなりました。岩国を発つ前、まず私たちが心配だったのは「行けるの？電車は大丈夫？」ということでした。台風10号が兵庫県に再上陸し、北陸方面へと北上していたからです。結果的にはほとんど問題なく、新幹線と特急サンダーバードを乗り継ぎ、無事敦賀へと到着することができました。

本番を午後控えた私たちには、他校の演奏を鑑賞しながらも気になることがありました。この日、甲子園では本校と山形県代表、羽黒高との試合が予定されていたのです。結果は6-0の完封勝利。悲願の一勝をあげた野球部に、福井の地から賞賛の拍手を送るとともに、私たちも負けてはいられない、頑張っている演奏をしようと思いました。

昨年度、この大会への出場が決まったときは大変嬉しく思う反面、7人という部員の少なさにやや不安を感じていました。4月、新入部員の獲得に励んだ結果、部

員数は19人と2倍以上になりましたが、それと同時に部をまとめることの難しさを感じることも多々ありました。しかし、日々の練習を積ねて行くにつれ、部員の団結も強くなり、みんなで一丸となってこの大会に臨むことができたと思います。

本番ではコンクールの課題曲、ほか2曲を演奏しましたが、心地よい緊張感のなか楽しく歌うことができ、ほっとひと安心しました。この日のために一生懸命練習してきた甲斐があったと思います。1、2年生はこの貴重な体験を今後の活動に活かし、これまで以上に合唱部を盛り上げてくれると期待しています。

全総文参加にあたり、ご支援いただいた多くの方々や、親切に迎えて下さった地元福井のスタッフの皆さんに心から感謝しています。たくさん思い出を本当にありがとうございました。



吹奏楽部門

会場：福井県立音楽堂

防府西高等学校

2年 富永理恵

今年は、第27回全国高等学校総合文化祭福井大会吹奏楽部門に出演することができ、私たちはとてもよい経験をすることができました。

吹奏楽部門が行われた福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」は、とても大きくて素晴らしい音響を持ったホールなので感動しました。そんなホールで演奏することができてよかったです。私たちの演奏は大道具をたくさん使った曲だったので、ステージの袖で待っているときは緊張と不安でとてもドキドキしていました。けれども、準備は何とか上手くいって演奏もスムーズに進んだので、安心して楽しみながら演奏することができました。なによりも、会場で聴いている人たちが手拍子

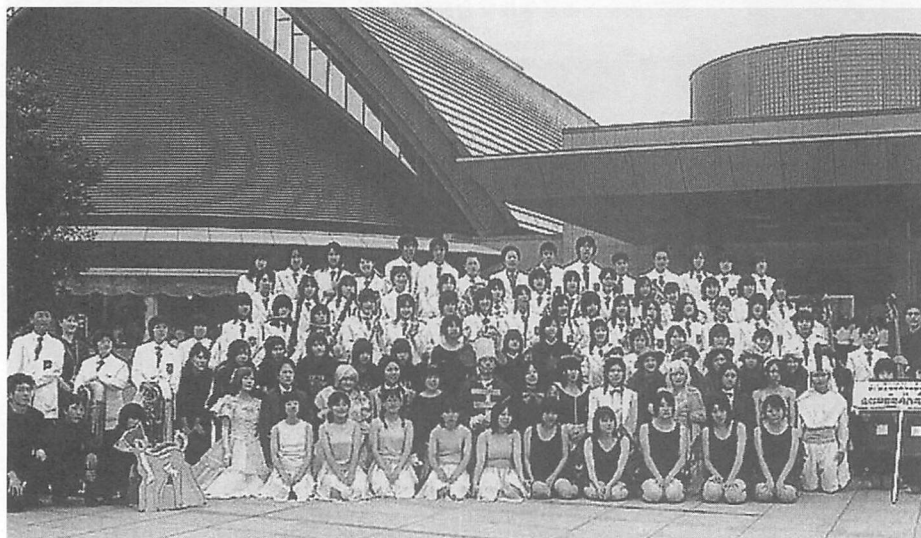


をしてくださり、私たちのステージを楽しんでくださっていたことが演奏をしながら伝わってきたことが、とても嬉しかったです。

また、集まった全国の吹奏楽部の人たちとの交流会があり、○×ゲームをやったのですが、踊りを踊ったり、地域のことを知ることができ

て、とても楽しい時をごすことができました。そして、感動しました。

私たち防府西高校吹奏楽部員にとって、とても貴重な体験をすることができた一日でした。



▲防府西高等学校

マーチングバンド・バントワリング部門

会場：福井県営体育館

慶進高等学校

3年 岩上 千紘

平成15年8月8日～10日の3日間、福井県で開催された全国高等学校総合文化祭に慶進高校・誠英高校二校で山口県合同チームとして参加させていただきました。山口県代表として出場が決定してから本番までの練習は、勉強との両立が大変な中、毎日厳しいものとなりました。宇部市を中心とした地域からの出演依頼や行事の多い私達にとって少しの時間も無駄にできず、合同チームとしての練習は、心身共に限界との闘いでもありました。夏の猛暑の中での練習が続いた為に、体調を崩し倒れてしまう部員も

いましたが、誰一人として諦める者もなく山口県代表としての自覚と誇りを持ち、部員全員で無事本番を迎える事ができました。大勢の出演者や観客の中での演技はとても緊張しましたが、1曲5分間の演技の為に、何ヶ月もかけて練習した成果を“全国”という大舞台に負けることなく部員一体となって精一杯発揮することができました。高難度の技が成功する度にいただいた観客席からの拍手や、演技が終わった瞬間の達成感は、心に残る思い出となりました。

私達の練習を温かく見守って下さった先生方ありがとうございました。



日本音楽部門

会場：武生市文化センター

聖光高等学校 3年 塩屋 知未

8月、私達聖光高等学校箏曲部は、福井県での全国大会に出場させていただきました。全国のレベルというものが、どんなものなのかとても楽しみでした。しかし実際は、想像をはるかに超える技術・迫力に圧倒されてしまいました。自分達で編曲した曲を演奏をする学校もありました。特に驚いたのが、見事なまでにつけられた音の強弱です。強く弾くところは本当に力強いけれど、がむしゃらではなくなめらかで、弱いところは小さく優しく響いていたのです。こんなにも曲が生きるものかと感動し、後輩達も真剣に聴き入っていました。その感動が強く心に残ったからでしょう、山口に帰ってからというものの、今まで以上に皆が積極的に練習するようになりました。今大会が私達にとってとても有意義なものとなった事を、大変嬉しく思います。

また、このような素晴らしい体験のチャンスをごくださった全ての方々に、心より感謝いたします。我々3年生にとっては最後の舞台になってしまいましたが、きっと後輩達が頑張ってくれるものと信じています。

聖光高等学校 2年 近藤 舞

高校で初めて琴に触れ、わずか2年で全国大会という大きな舞台に立てたことは、私にとって最大の喜びと驚きであり、一番大切な思い出になりました。

演奏会場は今までのどの会場よりも広く、見ただけで圧倒されました。また、全国大会だけあって他校生が数多く行き来しており、どの学校も自分達よりうんと上手に見えて緊張してしまいました。

本番当日、1校目の演奏が始まった瞬間、息もできないほど釘づけになってしまいました。始まりの礼から、音の強弱のつけ方、終わりの礼まで、すべて完璧でした。その演奏が終わった後、すごく悔しい思いをしました。できる事なら、私達もこんなふうに人の心を釘付けにするような演奏をしたかった、決して悪くはなかったけれど、残念ながら至らなかった、その事に対する悔しさでした。この気持ちをバネにまた明日からの練習に励みたいと思います。



美術・工芸部門

会場：福井県立美術館

理事長 古賀隆光
(宇部商業高等学校教諭)

今回、全国総文祭福井大会に参加した5名のみなさんから、感想をいただいています。全国の作品が集う中、それらの作品群を前にし、動かされた心の模様を伝えます。

出品作品『淋しいアトリエ』

長府高等学校 植村直子

全国レベルの作品を観ての感動は大きく、そして自分の作品を客観的に見る機会を得る事もできました。また総合開会式や、大通りでのマーチングなど県を上げて全国総文祭を盛り上げようという雰囲気は、他県から来た私にはとても嬉しいものでした。この素晴らしい催しに参加できた事はよい経験になり、これからの様々な物作りに役立てていこうと思います。



出品作品『es (エス)』

徳山高等学校 松原友紀

今回、全国高等学校総合文化祭に参加してみて自分の作品を新しい目で見直せたのがよかったと思います。また全国の同世代の人たちと話もでき絵葉書などを作ってとても楽しかったです。総合開会式の時の太鼓の力強い音の響きが感動的で今でも心に残っています。



出品作品

『GUARDIAN SPIRIT』

宇部商業高等学校 大元あゆみ

私にとって全国総文祭に出場することは、目標であり夢でもあります。



ました。実際に足を運んでみて、全国からの素晴らしい作品の数々を直に見て、1つ1つの作品の中に底知れない力を感じました。全国総文祭は、これからの作品に大きな影響を与え、制作の意欲をかき立ててくれました。総文祭に参加でき、本当に美術に関わっていて良かったと思いました。

出品作品『JUMPING KID』

山口高等学校 寺田幸子

福井大会では、作品は元より、高校生の力の可能性に感動した。大会のあらゆるものが地元の高校生の手作りで、やればできるんだなあとか、いろんな人がいるんだなあとか、やたら感心していた。なかなか行く機会のない福井の町を歩けたこと、そこで全国の高校生とその作品に出会えたことは、忘れられない思い出です。



出品作品『いのち』

防府高等学校 長嶺諒介

全国から集まった作品の数々を見た瞬間、大きな衝撃を受けました。同じ高校生が、こんなにもレベルの高い絵を描いているのだと思うと、自分の作品がそれらの作品群と同列に展示されている事に戸惑いを感じると同時に、この様な絵を描きたい、という衝動が湧いてきました。今回の大会は、自分にとってとても素晴らしく重要な経験になったと思います。



書道部門

会場：福井県産業会館



宇部西高等学校 3年 西村 緑

全国総文に参加して一生に一度しかない、とても貴重な経験をすることができました。

会場には、全国から集まった286点もの作品が飾られており、どの作品も素晴らしいもので、圧倒されました。交流会では、紙漉体験や作品交換、寄せ書きなどをし、書道を通じて県外の高校生と交流を深めることができました。今回このような経験をし、今まで書道を続けていて本当に良かったと心から思いました。そしてこれからも、大学へ進学し、より深く書道を追求していこうと思っています。生涯書道を続けると共に、あらゆることにチャレンジしていきたいと思っています。

下関西高等学校 3年 樋口 恵子

私は、高校に入学して、そこで書道の楽しさを学びました。古典を見ていく中で、それぞれの時代背景と共に数々の作品を鑑賞し、技術を習得できる喜びを覚えました。その喜びは全国総文に参加することで、更に大きなものになりました。全国の高校生が、どんな活動をしているのか、どんな表現をしているのかを見ることは普段そういった機会がない私にとって、とても興味深く、刺激を受けるものでした。

大学ではもっと多くの作品に触れ、技術面でも力を伸ばし、更に書道の楽しさを見つけていきたいと思っています。そして書道を通して自分の個性を磨いていけるよう努力したいと思っています。



厚狭高等学校 3年 徳久 紘子

全国総文に参加して、私は今までにない多くの貴重な体験をし、素晴らしいお土産を持ち帰ることができました。自分の作品を和紙で漉き、金箔や花を入れることによって、自分の書が見事にドレスアップされた瞬間はとても感激しました。初めて和紙作りを体験し、日本の文化の良さを改めて感じることができました。

また、班に分かれて大判用紙に寄せ書きをしたり、作品交換をし、多くの友人を作ることもできました。

全国の作品には、書と絵が一体化したものや、十二支の篆刻など、自分がした事のない作品も多く、学ぶことの多い文化祭でした。

萩光塩学院高等学校 3年 村木 智美

第27回全国高等学校総合文化祭福井大会に、書道部門の県代表の一人として参加できたことは、高校で書道コースを選択した私にとって、高校生活最後の年の最高の思い出となりました。

全国の高校生の作品を鑑賞して、その作品のレベルの高さに感動し、衝撃を受けました。

書道でも筆一本で様々な表現の仕方があることや、作品構成にも自分では思いもよらないような表現の工夫がされており、驚きと、感動の連続でした。

また、多くの人とふれ会えたり、紙漉き体験もでき、よい思い出になりました。

写真部門

会場：福井県立美術館

徳山高等学校

3年 西嶋 基

中学生のときは写真撮影をすることが好きではあったが、趣味で自然観察したことを記録として撮ったりするぐらいだった。高校に入学して縁あって写真部に入部し、岩国米軍基地で初めて高速で動くものや身近なものが対象となり、先輩について全国大会に行ったのが始まりで、2年生、3年生と自らの作品で出場することができた。

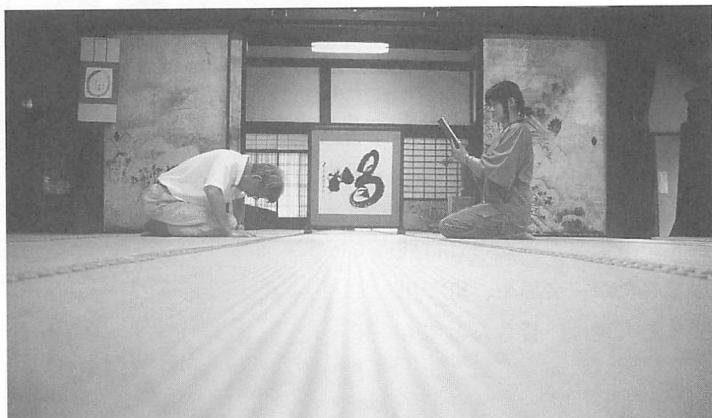
全国から選ばれた作品は、それぞれ個性があり学ぶことが多かった。作品を鑑賞するときに、ありのままに見える部分と、1つの作品を仕上げるのに自分の思いと、指導してくださる先生や一緒に活動をするほかの部員たちのアドバイスなど、さまざまな過程が自分の作品と同じように隠れているを感じながら、鑑賞することが年々身についてきた。このことで、他の作品を見ることが楽しみのようになった。

2年生、3年生では全国大会に出場するだけで残念ながら入賞することができなかったが、今年の撮影会では特選と言う賞を頂くことができた。何と言っても台風が接近し、自分たちの旅先の行程を追いかけてくるような状況だった。予定を立てた通りに目的地に着くよう、新幹線のダイヤの変更が無いか心配で朝早くから家を発った。いざ向かい始めると、部員の仲間たちと福井へ向けてそんな心配も吹き飛ばすようにワクワクしながら行ったものだった。予定されていた撮影会は、台風の影響で撮影場所が市内に変更になった。ここで、わが部活の顧問藤川先生は隠し持っ

たパワーを発揮され、あるお寺に連れて行ってくれた。このお寺との出会いも短い時間ではあったが不思議なもので、深い歴史を感じながら、ファインダーを覗くことができた。写真を撮影することはとても幅広いことで、思い出の記録、一瞬一瞬の動を静に変えること、そのことの他にいろいろな出会いがあるということをもこの3年間で知り、今まで以上に思い入れができるようになった。

写真を撮ることは、シャッターを押すだけのことで考えると大変簡単なのだが、人の前に立って撮ることをはじめ、運動会では暑い中走り回って行う撮影もあり、体力も必要だ。その他、技術面では興味を持っていたいろいろな本を見ることがや専門の方、身近な方々のお話も大変役に立った。

入賞できたことは嬉しいことで、これからの目標に向かって大変励みになると思う。長いようで短かった3年間の部活だったが、このことなどを含めて、一生忘れることができない思い出となった。これからも今までの活動を基に、自分らしくファインダーを通して瞬きで見えるものをしっかり撮影していきたい。



囲碁部門

会場：福井県民会館

下関西高等学校

2年 槌橋賢太郎

福井県に、男女個人戦・団体戦、総勢219名の各都道府県代表選手が集まりました。

近年、テレビゲーム等の普及によって、若者の囲碁人口はとて少なくなっていると言われていて、僕の通う基会所でも平均年齢は高く、子供や若い人はあまりいません。

しかし、大会会場は、そんなことを全く感じさせない若い熱気であふれていました。

ピリピリとした張りつめた空気の中で、試合が始まりました。一回戦、「絶対に勝ちたい!!」という気負いからか、緊張してしまった僕は、自分らしい碁が打てずに負けてしまいました。

二回戦も、初戦を落としたショックから立ち直ることが出来ないままにズルズルと負け、結局三勝三敗、47人中28位という不本意な成績に終わったのでした。

試合の時は全く良い所が無く、暗い気持ちでしたが、夜には山口県の代表選手達と一緒に食事に出かけたり、ホテル内では他県の選手達とも交流し、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

また、日程の関係で福井の観光が出来なかったことは残念でしたが、会場や、町で出会った人達は、皆さんとても

親切で温かな方ばかりでした。

次回の高文祭では、自分の精神面の弱さと勉強不足を反省し、福井大会のリベンジと、囲碁を通じて知り合うことが出来た他県の友人達との再会を果たしたいと思っています。

福井大会は、僕に囲碁の素晴らしさを再認識させてくれました。そして、日頃の学校生活では決して得ることの出来ない貴重な経験になりました。



放送部門

会場：プラザ萬象

山口農業高等学校

3年 姫野 裕

今回の全国大会に出場できたことは私達にとって、とても意義のあることでした。それは今回の作品である「みすゞとぼくらと」を発表できたからです。

「みすゞとぼくらと」は、山口県出身の女性詩人・金子みすゞの詩をたくさんの人知ってもらおうと思い制作しました。そしてそのみすゞの詩に山口農業高等学校の生徒の体験を綴った作文を添えて朗読することで、詩を知ってもらうとともに、農業高校の生徒ならではの心境を表現してみようと作った作品です。

制作は最初から困難の連続でした。数あるみすゞの詩と生徒の作文の中から両方が合うものを探すのが難しく、また合ったとしても長過ぎて制限時間内に収まらなかったりとなかなかうまくいきませんでした。卒業した先輩や先生と話し合いながら最終的に詩と作文を四つに絞り、それをもとに台本ができあがりました。

私は鶏の孵化から解体、そして食するまでを朗読しました。しかし、私は作文を書いた生徒と学科が違ったためにその心境を表現するのにとても苦労しました。そこでその学科の友達に話を聞き少しでも作者の気持ちに近づこうと努力しました。

次に苦労したのは映像です。生徒の作文を朗読するときに映すものは決まっていたのですが、みすゞの詩を朗読するときに映すものはどれにするか最後の最後まで思案しました。

そして、すでに卒業した先輩のアドバイスなどをいただきながら、みんなが真剣に力を合わせて作り上げた作品が、全国大会に出場し優秀賞をいただいたときは本当にうれしくてたまりませんでした。

私はもう少しで卒業です。最後に素晴らしい思い出ができて本当によかったと思っています。同時に後輩たちにも、放送部を通して僕が味わうことができた、このような素晴らしい感動を味わってほしいと願っています。



将棋部門

会場：多田記念大野有終会館

常任理事 岡 茂 樹

(防府高等学校教諭)

第27回全国高等学校総合文化祭将棋部門大会が、8月9・10日の2日間、福井県大野市で行われた。大型台風に追われながら、新幹線とサンダーバードを乗り継いでの福井入り。宿舎はホテルとはいえ高原のロッジ。さすが北陸、真夏とはいえ肌寒かった。宿では他校生とも友達になることができ、練習対局も楽しかった。

試合結果は以下の通りで、残念ながら惨敗だった。男子団体は一番期待されていたが、相手が東京代表の優勝候補。山本君が落ち着いた指し回しで完勝しただけに惜しい敗戦だった。初出場の河野君は経験不足かいつもの力が出せず、

惜敗。2回目出場の山田さんも強豪相手に善戦するのがやっとだった。宇部高中心の山口県の棋会地図だが、他校がもっと頑張らなければ全体のレベルアップにはならない。反省の多い大会だったが、今回で卒業の4人は悔しい思い出を胸に、進路先でさらに精進して欲しい。

<男子団体> 宇部高等学校

(山本 慎・刈谷吾有太・正司 康)

二回戦 武蔵高等学校(東京)

……負(1勝2敗)

<男子個人>

河野 健(宇部高等学校)

一回戦 知花 賢(首里東高等学校)……負

<女子個人>

山田沙耶香(防府高等学校)

二回戦 井出芽久美(野沢北高等学校)…負



文芸部門

会場：勝山市民会館

山口中央高等学校

3年 小田 真菜美

これまでに中国大会に出場したことはあっても、全国から集まった仲間たちに出会い交流を深める機会はなかったもので、いろんなことが新鮮に感じられました。福井県で過ごした三日間は、あっという間でした。

初日の「詩のボクシング」、審査員として出ることにより多少の緊張を感じつつも、出場者の独創性や頭の回転の速さに驚き楽しみました。

一番印象に残っているのが二日目です。私の参加した小説部門では「リレー小説」や作品評価をしました。自分の作品への厳しい評価ではかなり自分の未熟さを痛感しました。普段意見をぶつけ合うより、互いに褒め合うことしかしてこなかったことが、自分にとって良かったのか、改めて考えさせられました。同時にその場で友達ができたことがうれしく、とても印象に残っています。

最終日、勝山市の恐竜博物館で新たに友達に会った人たちとクイズを解いた後、閉会式で参

加者が集まって記念写真を撮りました。名も知らぬ人たちも集まっての記念撮影は、互いに場所を譲り合ったり笑いあったりして、温かい雰囲気が流れていました。

思い出して自然と笑みのこぼれるような、素晴らしい大会でした。言葉では言い尽くせないくらいです。ぜひ、次に全国大会出場される方々もこれを実感してください。

最後にこのような機会を与えてくださった方々と、ともに交流できた仲間達へ感謝したいです。ありがとうございました。



山口県高等学校文化連盟 自主事業 実施校一覧

(1)

番号	学校	事業	ピアノ	マリンバ	フルート	胡弓 打楽器 トランペット	尺八と琴 オベレッタ	交響楽団	演 劇	金管合奏
1	安 下 庄		63				平 7	平4平10		
2	久 賀		63					平 3	平10	
3	岩 国									平 1
4	岩 国 総 合							平11		平 1
5	岩 国 商 業				平 3				62平15	
6	岩 国 工 業							平 2	平6平8	
7	坂 上				63	平11		平 5	平 3	
8	広 瀬			平14	63					
9	高 森							平 2		
10	柳 井							平 7	平11	
11	柳 井 商 業							平11	平14	
12	柳 井 工 業							平14	平1平4平11	
13	熊 毛 南	63						平 6 ※	平12	
14	田 布 施 農 業						分平15	平 3	平 5	
15	田 布 施 工 業								※	
16	光	63						平8		
17	光 丘							平8平11	平14	
18	熊 毛 北							平2平14	63平7	
19	下 松	63				平12	平 7	平15		
20	華 陵	63						平8	平 1	
21	下 松 工 業							平 1		
22	徳 山			定平 4		定平10	定平8	平15	平12	
23	徳 山 北			63				平4平11	平 8	
24	徳 山 商 業			平 5	63				平 3	
25	徳 山 工 業								平4平7	平 1
26	鹿 野			平 3		平10		平 9	平 1 ※	
27	新 南 陽	63							平5平14	
28	南 陽 工 業			平 1				62		
29	佐 波				63		平 7			
30	防 府									
31	防 府 西							平10	、	平 1
32	防 府 商 業			定63				平12	平 6	平 1
33	山 口			定62定※			定平15	平 2		
34	山 口 中 央	63		平12		平10	平13			
35	西 京	62						平 4	平 7	
36	山 口 農 業							平 5	平 3	
37	宇 部	63								
38	宇 部 中 央			定平 1			定平14	平10	63	
39	宇 部 西							平14	平10	
40	宇 部 商 業				63			62平6	平 3	
41	宇 部 工 業			平13	平 2			平8		
42	小 野 田			定63						
43	小 野 田 工 業			定63					平 4	
44	厚 狭				平 1			平15	平 9	
45	美 祢	62				平 9		平 4	平 2	
46	大 嶺			平 4					63平13	
47	美 祢 工 業							63	平10	

ピアノ……………弘中 孝
マリンバ……………水野与旨久
フルート……………西田直孝トリオ
トランペット…田宮堅二

胡弓……………姜建華・楊宝元
尺八と琴……………中村明一、八木美知依
オベレッタ…木月京子ひとりオペラ
交響楽団……山口県交響楽団

演劇……………のんた・宇部芸術座・海峡座
金管合奏……東京金管五重奏団
打楽器……………韓国の太鼓と踊り

山口県高等学校文化連盟自主事業実施校一覧

(2)

番号	学校	事業	ピアノ	マリンバ	フルート	胡弓 打楽器 トランペット	尺八と琴 オベレック	交響楽団	演 劇	金管合奏
48	田 部							平1平13		
49	西 市							63		
50	豊 浦									
51	長 府									平 1
52	下 関 西									
53	下 関 南									
54	下 関 第 一								平 5	
55	下関中央工業							平12	平 6	
56	下 関 工 業	62							平 2	
57	響			平 5				平 1		
58	豊 北	62						平 3	平15	
59	日 置 農 業	63		平 5		平15	平 9		平2平13	
60	大 津	63						平12	平 5	
61	水 産							平12		
62	萩	63						平 3	平 6	
63	萩 商 業	63						平 7	平2平12	
64	萩 工 業							平 6 ※	平4平9	
65	徳 佐			分 63				63平10	平13	
66	奈 古					平11		平1平9		
67	盲	63		平 3		※	平8平10	平 7	平 1	
68	聾									
69	岩 国 養 護			平3平13		※			平10	
70	田 布 施 養 護			平 6				62		
71	徳 山 養 護			平11	平 1					
72	周 南 養 護			平15						
73	防 府 養 護	62		平 3	63	平12		※		
74	山 口 養 護							平14		
75	宇 部 養 護			63平5平14				平1平9		
76	下 関 養 護			平2平6				※		
77	豊 浦 養 護			平11※			平13			
78	萩 養 護			平 6						
79	下 関 商 業					定平14				
80	高 水								62	
81	柳 井 学 園			平 6					63	
82	聖 光							平 2		
83	山口県桜ヶ丘									
84	誠 英								平7平9	
85	多々良学園									
86	中 村 女 子	63						平2平5	平11※	
87	野 田 学 園	63								
88	山 口 県 鴻 城							平10	平12平15	
89	宇 部 鴻 城							平 7	平 9	
90	慶 進									
91	美 祢 中 央									
92	宇部フロンティア大学付属香川							平1平5平15	平11	
93	サ ビ エ ル									
94	早 鞆									
95	下関短期大学付属	62・63		平 4			平 7		平8	
96	長 門							平 6		
97	萩 光 塩 学 院									

(注) <62~平15……実施年度><※印……平成16年度実施予定>

《自主事業》山口県交響楽団演奏会

厚狭高等学校

2年 桐原 彩乃

「上手い楽団は初めの音で、聴いている人の心をしっかりとつかみ、素晴らしい演奏をする。」中学・高校と吹奏楽をやってきて、いろんな人からそう言われてきました。ああ、本当だな、と思いました。カルメンの初めの音、指揮棒がふりおろされたその瞬間を今でも忘れられません。とても感動しました。

ハンガリー舞曲、ウィリアムテル序曲、運命…本当にどの曲も勉強になることばかりでした。金管のファンファーレやヴァイオリンのソロ、木管の柔らかい響き。とても素敵でした。そして、一曲ごとにわかりやすい説明があり、「曲を心の中でイメージする」ことの楽しさを味わえ

たこと。私にとって、それが何よりもいい勉強になったと思っています。

あっという間に過ぎてしまった1時間半。本当に充実した時間でした。この感動をいつまでも胸に、人を感動させるような演奏ができるように私のがんばります。



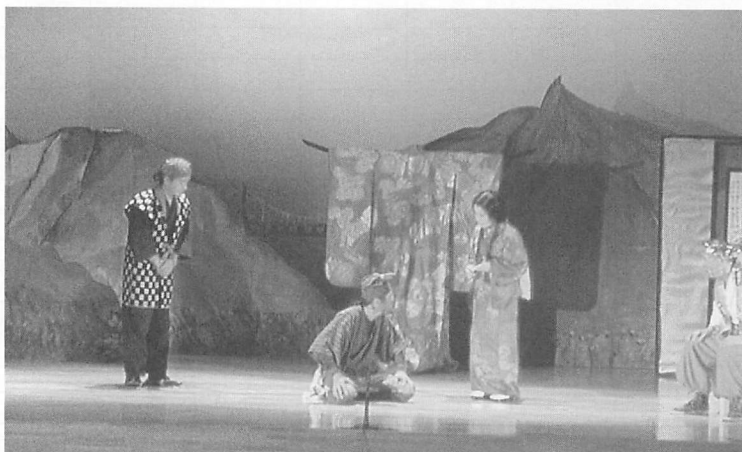
《自主事業》巡回演劇公演

山口県鴻城高等学校

2年 林 千絵

去る11月4日、宇部芸術座による芸術観賞会が催されました。題目は「羽衣伝説」、天女の

羽衣を偶然拾ってしまった男と天女を取り巻く、昔話的な雰囲気です。特筆すべき



はそのセットの量、トラック2～3台に上る本格的で工夫を凝らされた大道具小道具、そしてステージの3分の1を埋め尽くしてしまうかのような量の照明器具には、ただただ驚かされるばかりでした。

私達演劇部もそのセッティング作業を手伝わせていただき、大変参考になりました。

劇の方はまず、個性的な風の三兄弟の登場シーンから始まり、農民の男が偶然、天女の羽衣を拾う所

から物語は進行していきます。村の金持ちにだまされて羽衣を手放してしまった男は、羽衣がないと天界に帰れないと泣く天女と共に羽衣を取り返す決意をします。

羽衣を取り返すため毎日一生懸命働く、男と天女にふりかかる様々な事件が、物語に一層メリハリを加え、さらに続きを期待させるような

内容になっています。そうして最後に訪れる意外な結末は、人間の欲深さの化身でもあったように思われます。

芸術座の皆様、有意義な時間をありがとうございました。今後このような催しが増えて、さらに多くの人々が芸術を身近に感じられるようになる事を期待しています。

《自主事業》水野与旨久マリンバコンサート

周南養護学校

高等部1年 本田 景子

“初めての感動”

最初に聞いた曲はすごく感動しました。それは音がきれいで、ピアノとマリンバの呼吸が合っていました。「白鳥」という曲は、眠くなるぐらいしっとりした曲でした。「ウィリアムテル」「アメリカンパトロール」のようなアップテンポな曲が大好きで、自然と体がのっていました。はげしいリズムの演奏には体力がいるんだろうなあと思いました。

水野さん、お年はおいくつでいらっしゃいま

すか。どんな筋トレをされているのですか。これからも頑張ってください。ぜひまた周南養護学校にいらして下さい。お待ちしております。

ありがとうございました。



《自主事業》となりの国の打楽器と踊り

日置農業高等学校

3年 野村 貴美

“最高のステージ”



私は以前から学校で行われる『となりの国の打楽器と踊り』という公演をとっても楽しみにしていました。公演前日にパンフレットをもらって読んだ時、出演者の紹介やプログラムが書いてあったので、「どんな公演をするのだろう。」とワクワクしながら想像したりしていました。

実は私は、昨年韓国に行った時、このチャンゴという楽器を演奏したことがあります。

言葉が通じない現地の高校生とジェスチャーを使って教わりました。初心者の私には、左右の手が逆になったりと、とても難しかったのを覚えています。公演が始まると、音楽が流れば

じめました。するとチマチョゴリに身を包んで派手な扇を持った、優雅な風格を漂わせるリーさんが音楽に合わせて踊りながらステージに出てきました。そんな姿に見とれていると突然、パツという大きな音と共に扇を開いたり閉じたりしながら踊り出したので驚きました。踊りが終わると、マイクを持ったリーさんが韓国語でしゃべりだしました。皆、何をしゃべっているのか分からず呆然としていました。すると今度は日本語でしゃべりだしました。皆はホッとした表情で、リーさんの話を聞いていました。まず、チャンゴの踊りをリーさんとチャさんが披露しました。チャンゴの踊りは皆が圧倒されるほど二人の意気が合っていました。次に生徒数名と先生数名で、実際に楽器と踊りを体験しま

した。選ばれた人達はとてもおもしろそうに演奏しながら踊っていました。見ている私達もおもしろく、体育館内は笑いでいっぱいになりました。最後にチャさんのサンモの踊りを見ました。頭についている細長いリボンを動かすのは大変らしいのですが、チャさんは華麗な舞をステージいっぱいに使って踊っていました。どの演奏や踊り、またはトークも、観客全てを魅了してしまう最高のステージでした。

私はこの公演を見ることができて良かったなと思いました。そして以前よりも少し韓国の知識を深めることができたし、韓国が大好きになりました。またこのような皆が楽しめる公演があれば、ぜひ見たいです。リーさん、チャさん、本当にありがとうございました。

《自主事業》ひとりオペラ(ペロだしチョンマ)

田布施農業高等学校大島分校～生徒の感想から～

◎二十絃の琴は初めて見ました。音色がとてもきれいで、演奏を聴いている間、時を忘れる程集中していて、演奏が終わると「あれ？もう終わり？」という感じでした。二十絃の琴の独奏は、まだ何曲か聴きたかったです。

バリトンの独唱は、声がすごく出てて、「やっぱりオペラをやっている人は声量がちがうなあ…。」と思いました。でも男の人があれだけきれいな声が出せるのにはおどろきました。私も生徒会長さんと同じで、歌や琴に聞き入っていました。またいつか、この学校に来て演奏してほしいです。

琴はちょっと一音くらい弾いてみたかったです。でも、今日の演奏で二十絃の琴や、弾くときに使う「琴柱」など、道具についても知ることができたので、すごく感動しました。

◎バリトンは非常に声が低くて、校内中に響いていました。それと、琴と一緒にすると素晴らしかったです。この2つが合わさった演奏は心に残るものがありました。

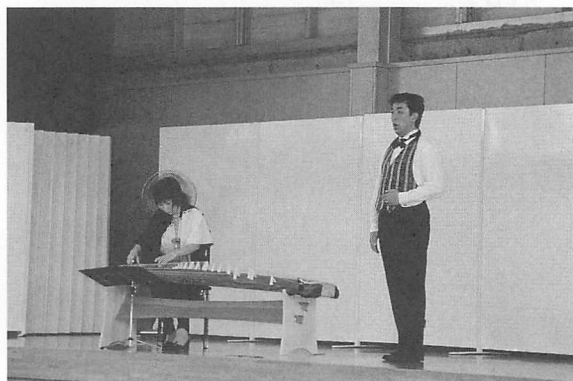
最初に日本の歌と外国の歌がこんなに合うとは思いませんでした。サンタルチアはよく知っ

ているし、荒城の月はぐっとくるものがありました。

日本のオペラ『ペロ出しチョンマ』は、琴の演奏とバリトンの人の語りが見事でした。千葉県のお話だとか、とても解りやすく少し興味がわきました。

一番最後の「星に願いを」は、本当に感動しました。

◎ひとりオペラを聞くのは今日が初めてだったので、とても印象的でした。歌う人は一人なのに、よくあんなに声のでるなあと思いました。



琴は、少し難しそうだったけど、すごく興味がわいてきて、私まで琴がやりたくなりました。

最後の「星に願いを」って曲は、私もとても好きで、すごく心に残りました。ステージのお二人との気持ちが伝わってきました。とても、琴のことに詳しくて勉強になったと思います。

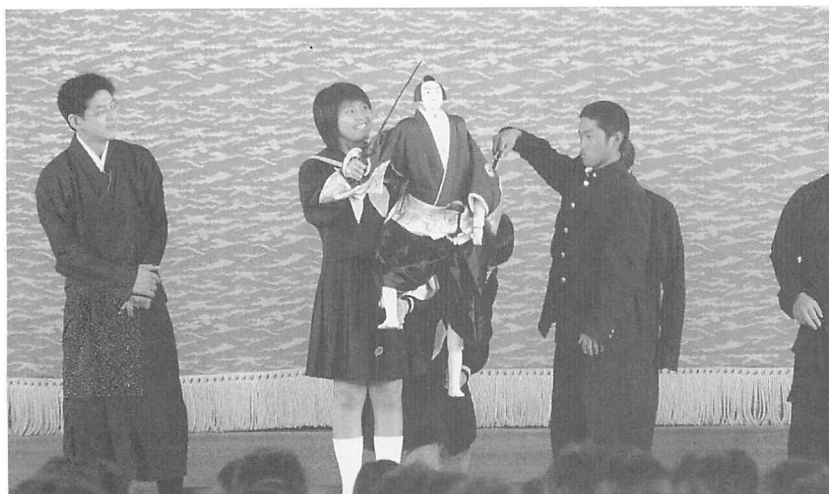
お二人とも、全然緊張していないみたいだったので、すごくビックリしました。今日は、あのような公演が鑑賞できてとても楽しかったし、嬉しかったです。

もし、また機会があるなら、あのような公演を鑑賞したいと思います。

平成15年度

「本物の舞台芸術体験事業」(学校公演)

「文楽座」公演／関西フィルハーモニー管弦楽団演奏会



10/17 (金) 柳井高校



10/23 (木) 聖光高校

平成15年度 山口県高等学校文化連盟【事業報告書】

月	日	事	業	会 場
4	10 16		会計監査 第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
5	9 13 (中旬) 23 24～25 27 28	水野与旨久マリンバコンサート 平成14年度「高文連」発行 山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭(将棋) 山口県交響楽団演奏会	高文連評議委員会 社団法人全国高等学校文化連盟第1回通常総会	萩市 周南養護学校 厚狭高校 防府市文化福祉会館 東京都フロラシオン青山 香川高校
6	12 13～14 14 27	県高校総合文化祭総合開会式 県高校総合文化祭(器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、 マーチングバンド・バトントワリング) 県高校総合文化祭(日本音楽、吟詠剣詩舞) となりの国の打楽器と踊り		シンフォニア岩国 シンフォニア岩国 光市民ホール 日置農業高校
7	1 16	巡回演劇「劇団海峡座」	第13回中国地区高文連関係者合同会議	鳥取市 豊北高校
8	7～11 8～12 9 30～31	全国高等学校総合文化祭 第14回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	社団法人全国高等学校文化連盟各専門部会 社団法人全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	福井県 福井県 福井市 東京都 国立劇場
9	3 8	ひとりオペラ「ペロだしチョンマ」 ひとりオペラ「ペロだしチョンマ」		山口高校(定時制) 田布施農業高校(大島分校)
10	1 1 15 17 23 25 25～26 26	山口県交響楽団演奏会 山口県交響楽団演奏会 巡回演劇「劇団のんた」 本物の舞台芸術体験事業(文楽) 本物の舞台芸術体験事業(管弦楽) 県高校総合文化祭(文芸) 県高校総合文化祭(演劇) 県高校総合文化祭(囲碁)		下松高校 徳山高校 岩国商業高校 柳井高校 聖光高校 山口県セミナーパーク シンフォニア岩国 宇部高校
11	2 4 5 7～9 26	県高校総合文化祭(放送) 巡回演劇「宇部芸術座」 第5回高校生文芸道場 中国ブロック大会 県高校総合文化祭(美術・工芸、書道、写真)	第1回高文連理事長会	ニューメディアプラザ山口 山口県鴻城高校 米子市 周南市美術館 山口中央高校
12	20	第5回高校生文芸道場 総合大会		国立オリンピック記念青少年総合センター
1	(初旬) 22～23 23	平成15年度「高文連会報」発行	第15回全国高等学校文化連盟研究大会 都道府県高文連実務担当者会議	広島市 広島市
2	5 9 13～15 24	第12回全国高等学校文化連盟 将棋新人大会	社団法人全国高等学校文化連盟第2回通常総会 第2回高文連理事長会 第2回高文連企画運営委員会	東京都フロラシオン青山 山口中央高校 広島市 山口中央高校
3	3 23	第23回器楽管弦楽スプリングコンサート	第2回中国地区高文連実務担当者会議	鳥取市 防府市
【その他】 県高校総合文化祭準備(実行)委員会 総合開会式・音楽関係4部門(岩国総合高校) 展示関係3部門(徳山高校) 日本音楽・吟詠剣詩舞部門(聖光高校) 演劇部門(岩国高校) 囲碁部門(宇部高校) 放送部門(岩国高校) 将棋部門(宇部高校) 文芸部門(萩高校) 各専門部会.....部会長校を中心に開催 各専門部研修会.....県下各地において開催 主管校を中心に開催				

山口県高等学校文化連盟 / 【共催】

第7回やまぐち県民文化祭／第42回山口県吹奏楽コンクール
第7回やまぐち県民文化祭／第58回合唱コンクール山口県大会
第27回全日本アンサンブルコンテスト山口県大会

／ 【後援】

第27回全国高等学校囲碁選手権大会山口県大会
第9回山口県盲・聾・養護学校文化祭美術作品展
第16回全日本マーチングフェスティバル山口県大会

平成15年度 山口県高等学校文化連盟会計【決算書】

(収入の部)

(単位: 円)

区 分	予 算 額	決 算 額	増減(△減)	摘 要
繰 越 金	4,670,059	4,670,059	0	
会 費	15,488,750	15,312,450	△ 176,300	
(内訳)	15,295,000 70,750 123,000	15,124,200 67,450 120,800	△ 170,800 △ 3,300 △ 2,200	全日制 ……………350円×43,212人 定時制・盲・聾・養… 50円× 1,349人 学校負担金 …………… 100円×1,208学級
補 助 金	4,704,000	4,902,000	198,000	
(内訳)	1,202,000 100,000 3,402,000	1,245,000 137,000 3,520,000	43,000 37,000 118,000	県総文祭県補助金 岩国市補助金 全総文祭県補助金
調整基金から繰入	0	0	0	
雑 収 入	5,191	4,243	△ 948	利息
合 計	24,868,000	24,888,752	20,752	

(支出の部)

区 分	予 算 額	決 算 額	残額(超過△)	摘 要
運 営 費	1,107,600	1,121,314	△ 13,714	
(内訳)				
事務用品費	220,000	196,536	23,464	事務用品、写真、事務機器維持費
通 信 費	400,000	397,178	2,822	電話、郵便、運送料等
分 担 金	487,600	527,600	△ 40,000	全国高文連会費、賛助会費、中国高文連分担金
会 議 費	1,900,000	1,644,062	255,938	県内、全国会議、研究大会、事務局旅費
事 業 費	20,232,450	16,888,220	3,344,230	
(内訳)				
県 総 文 祭	8,490,620	6,544,077	1,946,543	総合開会式 各部門大会開催費(別紙)
全 総 文 祭	6,162,830	5,141,181	1,021,649	生徒旅費356万 引率旅費111万 運送費47万
自 主 事 業	2,394,000	2,394,000	0	11公演
大会補助金	50,000	50,000	0	特殊教育
専門部会費	1,885,000	1,635,462	249,538	研修費 通信費
印 刷 費	1,250,000	1,123,500	126,500	高文連集録 会報 県総文祭ポスター
調 整 基 金	0	0	0	
予 備 費	1,627,950	566,657	1,061,293	コピー機 中国文芸道場派遣費
合 計	24,868,000	20,220,253	4,647,747	

(収入) 24,888,752 - (支出) 20,220,253 = (繰越) 4,668,499

平成15年度 調整基金会計決算書

(単位: 円)

前年度末現在高	一般会計から繰入	今年度末残高
13,000,000	0	13,000,000

上記の通り相違ありません

平成16年4月15日

監事

監事

野村 稔
中村行宣

平成16年度 山口県高等学校文化連盟【事業計画】

月	日	事	業	会 場
4	15 21		会計監査 第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
5	14 18 20 24～25 25 (下旬)	水野与旨久マリンバコンサート 水野与旨久マリンバコンサート 県高校総合文化祭(将棋) 平成15年度「高文連」発行	高文連評議委員会 社団法人全国高等学校文化連盟第1回通常総会	下関市 山口高校(定時制) 豊浦養護学校 防府市文化福祉会館 東京都ホテルフロラシオン青山
6	10 12 14 16 17 18～19	巡回演劇「劇団のんた」 県高校総合文化祭(日本音楽、吟詠剣詩舞) となりの国の打楽器と踊り となりの国の打楽器と踊り 県高校総合文化祭総合開会式 県高校総合文化祭(器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、 マーチングバンド・バントワリング)		鹿野高校 萩市民館 岩国養護学校 盲学校 ルネッサながと ルネッサながと
7 及 び 8	2 9 29～2 30～3 31 28～29	山口県交響楽団演奏会 第28回全国高等学校総合文化祭 第15回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	第14回中国地区高文連関係者合同会議 社団法人全国高等学校文化連盟各専門部会 社団法人全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	鳥取市 下関養護学校 徳島県 徳島県 徳島市 東京都 国立劇場
10	20 23 23 30～31	山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭(囲碁) 県高校総合文化祭(文芸) 県高校総合文化祭(演劇)		熊毛南高校 宇部高校 周南市新南陽ふれあいセンター 下関市文化会館
11	4 4 7 (上旬) 12～14 17 19 (11月中) (11月中)	山口県交響楽団演奏会 山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭(放送) 第6回高校生文芸道場 中国ブロック大会 県高校総合文化祭(美術・工芸、書道、写真) 本物の舞台芸術体験事業(音楽劇) 本物の舞台芸術体験事業(音楽劇) 巡回演劇「宇部芸術座」 巡回演劇「劇団海映座」	第1回高文連理事長会	防府養護学校 萩工業高校 ニューメディアプラザ山口 山口中央高校 広島県 ルネッサながと 下関南高校 久賀高校 田布施工業高校 中村女子高校
12	2 3 (中旬) 18	本物の舞台芸術体験事業(演劇) 本物の舞台芸術体験事業(演劇) 平成16年度「高文連会報」発行 第6回高校生文芸道場総合大会		田布施農業高校 宇部フロンティア大学付属香川高校 東京都
1	27～28 28 (下旬)	第13回全国高文連 将棋新人大会	第16回全国高文連研究大会 都道府県高文連実務担当者会議	札幌市 札幌市 仙台市
2	4 (上旬) (下旬)		社団法人全国高等学校文化連盟第2回通常総会 第2回高文連理事長会 第2回高文連企画運営委員会	東京都ホテルフロラシオン青山 山口中央高校 山口中央高校
3	(上旬) (下旬)	第24回器楽管弦楽スプリングコンサート	第2回中国地区高文連実務担当者会議	鳥取市 柳井市
【その他】 県高校総合文化祭準備(実行)委員会 総合開会式・音楽関係4部門(大津高校) 展示関係3部門(萩工業高校) 日本音楽・吟詠剣詩舞部門(萩高校)主管校を中心に開催予定 演劇部門(下関商業高校) 囲碁部門(宇部高校) 放送部門(岩国総合高校) 将棋部門(防府高校) 文芸部門(萩高校) 各専門部会.....部会長校を中心に開催予定 各専門部研修会.....県下各地において開催予定				

平成16年度 山口県高等学校文化連盟会計【予算書】

(収入の部)

(単位：円)

区 分	予 算 額	前年度予算額	増減(△減)	摘 要
繰 越 金	4,668,499	4,670,059	△ 1,560	
会 費	14,707,000	15,488,750	△ 781,750	
(内訳)	14,525,000 65,000 117,000	15,295,000 70,750 123,000	△ 770,000 △ 5,750 △ 6,000	全日制 ……………350円×41,500人 定時制・盲・聾・養… 50円× 1,300人 学校負担金 ……… 100円×1,170学級
補 助 金	4,773,000	4,704,000	69,000	
(内訳)	1,060,000 100,000 3,613,000	1,202,000 100,000 3,402,000	△ 142,000 0 211,000	県総文祭県補助金 長門市補助金 全総文祭県補助金
調整基金から繰入	0	0	0	
雑 収 入	4,501	5,191	△ 690	利息
合 計	24,153,000	24,868,000	△ 715,000	

(支出の部)

区 分	予 算 額	前年度予算額	増減(△減)	摘 要
運 営 費	1,167,600	1,107,600	60,000	
(内訳)				
事務用品費	220,000	220,000	0	事務用品、写真、事務機器維持費等
通 信 費	420,000	400,000	20,000	電話、郵便 運送料等
分 担 金	527,600	487,600	40,000	全国高文連会費、賛助会費、中国高文連分担金
会 議 費	1,730,000	1,900,000	△ 170,000	県内・全国会議、研究大会、事務局旅費
事 業 費	18,232,797	20,232,450	△1,999,653	
(内訳)				
県 総 文 祭	8,099,220	8,490,620	△391,400	総合開会式 各部門大会開催費(別紙)
全 総 文 祭	4,598,577	6,162,830	△1,564,253	生徒旅費237万 引率旅費188万 運送費35万
自 主 事 業	2,394,000	2,394,000	0	11公演
大会補助金	50,000	50,000	0	特殊教育
専門部会費	1,891,000	1,885,000	6,000	研修費 通信費 各部門全国分担金
印 刷 費	1,200,000	1,250,000	△ 50,000	高文連集録 会報 県総文祭ポスター 賞状
調 整 基 金	0	0	0	
予 備 費	3,022,603	1,627,950	1,394,653	事務機器 他
合 計	24,153,000	24,868,000	△ 715,000	

平成16年度 調整基金会計予算書

(単位：円)

前年度末現在高	一般会計から繰入	今年度末現在高
13,000,000	0	13,000,000

山口県高等学校文化連盟規約

平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成3年4月1日改正
平成4年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成9年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成16年4月15日改正

第 1 章 総 則

(名称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

(事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

(目的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

(事業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する事業。
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

(組織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校並びに高等部を設置している盲学校、聾学校及び養護学校をもって組織する。

2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワリング、日本音楽、吟詠剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸の各部門とする。

第 2 章 役 員

(役員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- | | |
|----------------------------|----------------|
| (1) 会 長 1人 | (5) 専門部会長 14人 |
| (2) 副会長 若干人 | (6) 専門部理事長 14人 |
| (3) 評議員 95人以上(会長及び副会長を含む。) | (7) 監 事 2人 |
| (4) 支部長 7人 | (8) 参 与 若干人 |

(役員を選出)

第8条 役員を選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

(4) 監事は、評議員の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

(1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。

(2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。

(3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。

(4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し、執行する。

(5) 監事は、会計を監査する。

(6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校に在籍する者とし、その任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

第 3 章 会 議

(会議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げるとおりとし、会長が必要に応じてこれを召集する。

(1) 評議員会 (2) 企画運営委員会 (3) 理事長会

2 会議の議長は、会長がこれに当たる。

3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。

4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。

5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し、決定する。

(1) 規約の制定及び改廃に関する事項 (2) 予算及び決算に関する事項

(3) その他、連盟の運営に係わる重要事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

(1) 評議員から委任された事項 (2) 会議の運営及び執行に関する事項

(3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項

2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。

3 委員会は、事業を主管する学校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。

4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

(1) 企画運営委員会から委任された事項 (2) その他各専門部の運営に係わる事項

第 4 章 会 計

(経費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の分担金、県内の高等学校等の生徒の会費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 5 章 事 務 局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 6 章 雑 則

第21条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟 諸規程

[会計規定]

昭和62年4月1日制定

平成4年4月1日改正

平成5年4月1日改正

平成8年4月11日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。

第3条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。

第4条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え、全ての経理内容を記入するものとする。

第5条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。

第6条 各高等学校は、毎年5月31日までに、会費を納入するものとする。

＜会費内訳＞ 各高等学校生徒一人当たり1年に（全日制生徒）……………350円

（定時制、盲、聾、養護学校高等部生徒）…………… 50円

各学校負担金（定時制、盲学校、聾学校、及び養護学校は除く）

……………学級数×100円

第7条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[事務局規程]

昭和62年4月1日制定

昭和62年7月14日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。

第2条 事務局に次の職員を置く。

(1) 事務局長

(2) 事務局員 ア 総務係

イ 庶務係

ウ 会計係

第3条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。

第4条 事務局員総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書・調査研究に関する事項を分掌する。

第5条 事務局員庶務係は、事務局長の命を受け、庶務に関する事項を分掌する。

第6条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。

第7条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。

第8条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。

第9条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[表彰規程]

昭和62年4月1日制定

昭和62年7月14日改正

平成元年4月1日改正

平成2年4月11日改正

平成6年4月1日改正

平成8年4月1日改正

平成15年4月1日改正

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。

(表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

(1) 文化功労賞

(2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの。

(文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数300名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

(1) 人格、識見共に優秀と認める者。

(2) 芸術文科活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。
(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの)

(優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、14部門において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

(功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。

(優秀指導者賞)

第11条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、14部門において、全国大会等で優秀賞を授与され、且つ、長年にわたり部の指導に当たってきた者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の受賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決定する。本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

〔旅費支給基準〕

昭和62年4月1日制定
昭和63年4月25日改正
平成元年4月1日改正
平成11年4月1日改正
平成13年4月1日改正
平成16年4月1日改正

- 1 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。
- 2 県総文の運営に関する旅費は、依託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。
- 3 全国高等学校総合文化祭に関する旅費は、引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。
生徒は〔交通費実費(学割・団体割引)＋宿泊費(大会規定料金)×2泊〕×1/3とする。
※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。(ただし県内は除く)
※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。(ただし県内は除く)
- 4 専門部会長及び支部長が、県高等学校総合文化祭運営協議会(顧問会議、支部会議等)を開催する場合は、出席者の在籍する各学校でこれを負担するものとする。

平成15年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職 名	氏 名	支 部 ・ 専 門 部	所 属 校
会 長 副 会 長 〃 〃	山 賀 正 彦 斎 藤 等 内 田 光 邦 水 田 洋 二		山 口 中 央 高 校 岩 国 高 校 下 関 西 高 校 山 口 県 桜 ケ 丘 高 校
支 部 長 〃 〃 〃 〃 〃 〃	斎 藤 等 鬼 村 悦 男 齊 藤 忠 壽 山 賀 正 彦 兼 石 俊 明 村 中 日 出 夫 藤 本 昌 範	岩 国 支 部 柳 井 支 部 徳 山 支 部 山 防 支 部 宇 部 支 部 下 関 支 部 長 北 支 部	岩 国 高 校 柳 井 高 校 徳 山 高 校 山 口 中 央 高 校 宇 部 高 校 下 関 南 高 校 萩 高 校
専 門 部 会 長 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	西 村 靖 昭 村 中 日 出 夫 藤 本 昌 範 城 島 越 臣 内 藤 ト モ コ 木 村 晋 (休 部) 田 口 勝 海 伊 東 孝 夫 金 田 重 之 明 兼 石 俊 明 斎 藤 等 兼 石 俊 明 藤 本 昌 範	演 劇 部 門 器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門 合 唱 部 門 吹 奏 楽 部 門 マーチングバンド・ マトン・グランド・ 日本 音 楽 部 門 吟 詠 剣 詩 舞 部 門 美 術 ・ 工 芸 部 門 書 道 部 門 写 真 部 門 囲 碁 部 門 放 送 部 門 将 棋 部 門 文 芸 部 門	山 口 県 鴻 城 高 校 下 関 南 高 校 萩 高 校 岩 国 商 業 高 校 佐 波 高 校 田 布 施 農 業 高 校 (休 部) 宇 部 商 業 高 校 防 府 高 校 光 高 校 宇 部 高 校 岩 国 高 校 宇 部 高 校 萩 高 校
専 門 部 理 事 長 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	村 岡 圭 吾 飯 田 幸 生 有 富 美 子 藤 本 博 途 熊 野 文 政 宮 本 睦 美 (休 部) 古 賀 隆 光 有 富 由 美 佃 幸 憲 守 田 正 志 大 島 信 子 弘 中 敏 之 西 村 佳 子	演 劇 部 門 器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門 合 唱 部 門 吹 奏 楽 部 門 マーチングバンド・ マトン・グランド・ 日本 音 楽 部 門 吟 詠 剣 詩 舞 部 門 美 術 ・ 工 芸 部 門 書 道 部 門 写 真 部 門 囲 碁 部 門 放 送 部 門 将 棋 部 門 文 芸 部 門	山 口 県 鴻 城 高 校 下 関 南 高 校 萩 高 校 岩 国 商 業 高 校 佐 波 高 校 田 布 施 農 業 高 校 (休 部) 宇 部 商 業 高 校 防 府 高 校 光 高 校 宇 部 高 校 岩 国 高 校 宇 部 高 校 萩 高 校
監 事 〃	中 村 行 宣 野 村 稔		防 府 商 業 高 校 西 京 高 校
事 務 局 長 総 務 庶 務 会 計	角 中 悦 太 郎 柴 崎 正 比 古 新 竹 伸 芳 豊 川 眞 利 子		山 口 中 央 高 校 山 口 中 央 高 校 山 口 中 央 高 校 山 口 中 央 高 校

平成16年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職 名	氏 名	支 部 ・ 専 門 部	所 属 校
会 長 副 会 長 〃 〃	中 島 俊 泰 斎 藤 等 内 田 光 邦 浜 村 一 穂		山 口 中 央 高 校 岩 国 高 校 下 関 西 高 校 宇部フロンティア大学付属香川高校
参 与	沖 浦 初 孝		山 口 高 校
支 部 長 〃 〃 〃 〃 〃 〃	斎 藤 等 鬼 村 悦 男 棟 久 郁 夫 中 島 俊 泰 兼 石 俊 明 奥 野 信 昭 山 下 浩	岩 国 支 部 柳 井 支 部 徳 山 支 部 山 防 支 部 宇 部 支 部 下 関 支 部 長 北 支 部	岩 国 高 校 柳 井 高 校 徳 山 高 校 山 口 中 央 高 校 宇 部 高 校 下 関 南 高 校 萩 高 校
専 門 部 会 長 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	西 村 靖 昭 奥 野 信 昭 山 下 浩 山 根 多 野 真 路 内 藤 トモコ 木 村 晋 (休 部) 山 本 信 夫 伊 東 孝 夫 金 田 重 之 兼 石 俊 明 下 村 宗 生 伊 東 孝 夫 山 下 浩	演 劇 部 門 器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門 合 唱 部 門 吹 奏 楽 部 門 マ－チングバンド・ マトシントグバンド部門 日 本 音 楽 部 門 吟 詠 剣 詩 舞 部 門 美 術 ・ 工 芸 部 門 書 道 部 門 写 真 部 門 囲 碁 部 門 放 送 部 門 将 棋 部 門 文 芸 部 門	山 口 県 鴻 城 高 校 下 関 南 高 校 萩 高 校 岩 国 商 業 高 校 佐 波 高 校 田 布 施 農 業 高 校 (休 部) 宇 部 商 業 高 校 防 府 高 校 光 高 校 宇 部 高 校 岩 国 総 合 高 校 防 府 高 校 萩 高 校
専 門 部 理 事 長 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	村 岡 圭 吾 飯 田 幸 生 有 富 美 子 藤 本 博 途 熊 野 文 政 宮 本 睦 美 (休 部) 古 賀 隆 光 有 富 由 美 佃 幸 憲 藤 原 信 二 大 島 信 子 岡 茂 樹 萩 原 直 子	演 劇 部 門 器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門 合 唱 部 門 吹 奏 楽 部 門 マ－チングバンド・ マトシントグバンド部門 日 本 音 楽 部 門 吟 詠 剣 詩 舞 部 門 美 術 ・ 工 芸 部 門 書 道 部 門 写 真 部 門 囲 碁 部 門 放 送 部 門 将 棋 部 門 文 芸 部 門	山 口 県 鴻 城 高 校 下 関 南 高 校 萩 高 校 岩 国 商 業 高 校 佐 波 高 校 田 布 施 農 業 高 校 (休 部) 宇 部 商 業 高 校 防 府 高 校 光 高 校 宇 部 高 校 岩 国 総 合 高 校 防 府 高 校 萩 高 校
監 事 〃	中 村 行 宣 野 村 稔		防 府 商 業 高 校 西 京 高 校
事 務 局 長 総 務 庶 務 計 会	角 中 悦 太 郎 柴 崎 正 比 古 新 竹 伸 芳 豊 川 眞 利 子		山 口 中 央 高 校 山 口 中 央 高 校 山 口 中 央 高 校 山 口 中 央 高 校

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定

向 川 栄 美 作詞

乗 松 美 紀 作曲



1. てをのばせば ほら きっとだれかがささえてくれる
2. よびかければ ほら きっとだれかがこたえてくれる



みーわたせ ー ば ほら なかまがいつでもそばにいる きみ
ころをひらけ ば ほら なかまがいつでもまっている きみ



は ひとりじゃない さあ ある きだ そ う
は ひとりじゃない さあ は ばた こ う



ぼくらのぶんか を つく る ため ー に
ぼくらのぶんか を きず く ため ー に

全国高文連の歌

一、手を伸ばせば ほら

きっと誰かが支えてくれる

見渡せば ほら

仲間がいつでもそばにいる

君は一人じゃない

さあ 歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかければ ほら

きっと誰かが応えてくれる

心を開けば ほら

仲間がいつでも待っている

君は一人じゃない

さあ 翔こう

僕等の文化を築くために

山口県高等学校文化連盟

「高文連」編集委員

(各部門)

合 唱	有 富 美 子	(県 立 萩 高 等 学 校)
マーチングバンド パトントワリング	熊 野 文 政	(県 立 佐 波 高 等 学 校)
器 楽 ・ 管 弦 楽	飯 田 幸 生	(県 立 下 関 南 高 等 学 校)
吹 奏 楽	藤 本 博 途	(県 立 岩 国 商 業 高 等 学 校)
演 劇	村 岡 圭 吾	(山 口 県 鴻 城 高 等 学 校)
日 本 音 楽	宮 本 睦 美	(県 立 田 布 施 農 業 高 等 学 校)
美 術 ・ 工 芸	古 賀 隆 光	(県 立 宇 部 商 業 高 等 学 校)
書 道	有 富 由 美	(県 立 防 府 高 等 学 校)
写 真	佃 幸 憲	(県 立 光 高 等 学 校)
囲 碁	守 田 正 志	(県 立 宇 部 高 等 学 校)
将 棋	弘 中 敏 之	(県 立 宇 部 高 等 学 校)
放 送	大 島 信 子	(県 立 岩 国 高 等 学 校)
文 芸	西 村 佳 子	(県 立 萩 高 等 学 校)

(事務局)

事 務 局 長	角 中 悦 太 郎	(県 立 山 口 中 央 高 等 学 校)
総 務	柴 崎 正 比 古	()
庶 務	新 竹 伸 芳	()
会 計	豊 川 眞 利 子	()

平成15年度
山口県高等学校文化連盟集録
「高文連」

編集・発行 山口県高等学校文化連事務局
〒753-0043 山口市宮島町 6-1
山口県立山口中央高等学校内
電話 083-932-0818
FAX 083-932-0813

表紙デザイン／国廣 真代（山口中央高校3年）

